

令和 2 年 8 月 24 日
学部交渉局副局長 米田羅生

令和 2 年度第 1 回学部交渉局アンケート結果

第 1 回学部交渉局アンケート

実施：令和 2 年 5 月 17 日から同 6 月 1 日

回答数：532

設問とページ

設問	内容	ページ
Q1, 2	科類、学年	(省略)
Q3	カリキュラム満足度	2
Q4～6	オンライン講義、新型コロナ対策	3
Q7, 8	英語中級	8
Q9,10	答案・レポート返却	13
Q11～16	進学選択	15
Q17	その他カリキュラムについて	23
Q18	施設・設備満足度	26
Q19	その他施設・設備について(設問不備)	27
Q20	要求項目調査	29
Q21～23	9 月入学	31
Q24	その他要求項目(設問不備)	43
Q25, 26	その他意見	45

Q3 現在のカリキュラム等の学務制度への満足度をお聞きます。

○満足度が比較的高かった項目

- ・基礎科目の授業内容（満足である＋やや満足である：50%）
- ・総合科目の授業内容（満足である＋やや満足である：75.6%）
- ・英語中級/上級の抽選（満足である＋やや満足である：56.7%）
- ・初年次ゼミナールの抽選（満足である＋やや満足である：64.3%）
- ・オンライン講義（満足である＋やや満足である：48.5%）
- ・UTAS（満足である＋やや満足である：46.8%）

○満足度の比較的低かった項目

- ・授業時間（やや不満である＋不満である：44.2%）
- ・必修科目の指定（やや不満である＋不満である：42.7%）
- ・進学制度（情報に関連して）（やや不満である＋不満である：45.3%）

○その他

- ・ガイダンス（どちらとも言えないが最多で、満足、不満足は約半数に割れている）
- ・キャップ制（どちらとも言えないが最多で、満足の方がやや優勢）
- ・主題科目・展開科目の授業内容（無回答が最多で、満足の方が優勢）
- ・試験（どちらとも言えない、無回答が多く、不満の方が優勢）
- ・成績評価方法（どちらとも言えないが最多で、不満の方がやや優勢）
- ・教員指定の基礎科目、抽選科目の授業の教員間格差
（どちらとも言えないが最多で、不満の方が優勢）
- ・その他履修制度（どちらとも言えないが最多で、満足、不満足は約半数に割れている）
- ・進学選択制度（点数面に関連して）
（どちらとも言えないが最多で、不満の方がやや優勢）
- ・教職課程（無回答が過半数、満足、不満足は約半数に割れている）
- ・ITC-LMS（満足、不満足は約半数に割れている）

Q4 オンライン講義に関して、良かった点、改善して欲しい点、今後に活かして欲しい点がありますか？

新たな問題点として提案ができそうな点

○オンラインでの105分の授業時間が精神的にも健康的にも負担となっている

→今回のアンケートで特に目立った意見であり、授業中の集中力がどうしても持たず、授業時間の短縮を求める声があった他、授業時間中に十分な休憩時間を設けて欲しいとの意見もあった。

○課題が多すぎる

→これもアンケート結果の中で多数見られた意見であり、学期末にオンラインで試験を行う授業が課す課題に関して、試験か課題かどちらかにしてもらわないと負担が多すぎるとの意見もあった。

○全ての講義を録画、あるいは録音してそれをLMSなどに毎回掲載するべきである

→講義中に音声の乱れがあると、その原因が自分の環境なのか教員側の環境なのかがわからないため授業内で聞き直すことが憚られ、授業内の重要なポイントを聞き逃してしまう人がある。（そのためだけに教授にメールを送信して動画を取り寄せるのも同様に憚られ、回数が重なると尚更である。）また授業の復習を行う際も授業動画を参照しながらの方がやりやすい場合があるため、授業動画を残しておくのは自学の面でも意義があると言える。加えて、録画した動画をアップロードするのは容量的な不安があるものの、録音であればアップロードの手間は比較的少なく、実現可能性も高いと言えるのではないだろうか。

○授業で顔出しを行う予定がある場合には事前に告知が欲しい

→女子に限らず、身だしなみを気にする人は急な顔出しの要望に対して抵抗を覚えるということであるため、顔出しを授業中に行う予定である場合に関しては授業前にLMSなどで告知をして欲しいとのことである。これに関しては教授の方々にこの旨をお知らせすることができればすぐにでも実現ができることであると思われる。

○LMSの機能性についての提案

→LMS の機能性に関しては2つの提案があった。1つは LMS の通知機能に関して、教材のアップロードなどの重要な情報がメールなどの通知機能で知らされる中で、スレッド内での発言などの比較的重要度が低い情報も一緒に通知されてしまうことで煩わしさを生んでしまっているとのことである。通知機能内で、通知する情報が選別できる機能などがあれば解決すると考えられる。もう1つの意見としては、提出期限が設定されている課題を一覧として表示される機能に関する要望があった。

特に回答が多かった意見

①良かった点

- ・ 早期にオンライン授業への移行がなされて学事暦通りに物事が進んでいる
- ・ 通学しなくても良い
- ・ 授業間の移動がない
- ・ オンライン授業ではいわゆる「座席格差」が存在しない
- ・ チャットで気軽に質問ができる
- ・ LMS などで授業資料が事前に配布される

②改善して欲しい点

授業内

- ・ オンライン授業での 105 分間の授業での集中力の持続が困難である
- ・ 授業中にちゃんと休憩時間をとって欲しい
- ・ 質問が多くくることによって質疑応答の時間がとても長くなっている
- ・ 授業途中で回線落ちしてしまった人のために授業内での重要事項（課題や試験に関する

情報も含む）を何処かに掲載して欲しい

- ・ 一方向的な授業がどうしても退屈
- ・ 教員側の wi-fi 環境に学校からの補助が欲しい
- ・ 初修外国語の授業では先生の発音がわかりにくく、教授がビデオを付けない

講義だと口

の形の確認もできない

- ・ マイクのミュートを手違いでオフにしている生徒の対策を教員側でして欲しい
- ・ 潜りに関して寛容であって欲しい
- ・ 授業を延長する教授がいて困る
- ・ 授業内でのチャットでの質問の方式を統一して欲しい

- ・授業内で音声が飛んだ時、自分の環境か相手の環境かがわからず、指摘しにくい
- ・教授が基本的に板書を行わないため、生徒側がメモを取る時間がなくどんどん授業が進んでいってしまう

授業外

- ・全ての講義において録画が欲しい
- ・課題が多すぎる
- ・講義の方法や資料配布の方法が統一されていないため混乱する
- ・オンラインでの試験の実施に公平性が保たれているかが極めて不安であり、それによって進学先が決まるのは納得がいかない
- ・LMS の通知機能、課題表示機能のアップデートが欲しい
- ・特に数理科学系の授業進行が早くついていけないほか、見ることを課せられた映像資料が授業時間を遥かに超えていて負担になっている

③今後に活かして欲しい点

- ・一方向的な授業に関してはオンラインではなくオンデマンドでやってもらったほうが時間がうまく使える
- ・朝や夜の授業に関してはこれからもオンラインの方がありがたい
- ・対面授業への切り替えもオンライン授業への切り替えに二週間ほどの猶予があったように余裕を持って行って欲しい
- ・対面授業も録画があると復習などに非常に役に立つ

Q5. 駒場キャンパスでは、ステージ・レッドへの移行により、アドミニ棟での窓口業務の多くが停止しました。これに関してご意見や、困ったこと等ありましたら、お教えください。

- ・ 証明書の発行ができない（奨学金など各種申請に必要、自動発行機は動かして欲しかった）
- ・ 学生証が受け取れない（受け取りに時間がかかった、まだ受け取れていない）
- ・ 掲示が見られない（アルバイトやイベント、治験、奨学金などの情報が得られない）
- ・ 対面や電話による口頭での対応・相談ができない（進学選択に関する質問や相談がしたい、休学の相談ができない）
- ・ その他（書類を簡易書留で送らないといけないのが困る、問い合わせのメールが返ってこない、対応が遅い）

アドミニ棟の業務とは直接関係ない回答も多数あったが無視すべきではないと判断したため列挙する（なお Q6.と重複する部分も多い）。

- ・ 図書館が使えなくて困る（多数）
- ・ 生協関連（まだ加入できていない、組合員証がまだない、オリ合宿計画のためにトラベルセンターがいつ開くのか知りたい、教科書・参考書が買えない）
- ・ 自治会室（過去問が入手できなくて困る、いつからコピーできるのか知りたい）

Q6. その他、新型コロナウイルス感染症対策全般について、ご意見等あればお教えください。

大学施設を利用できないことに起因する問題、その他学習にかかわる問題、成績評価と進学選択にかかわる問題などが多く見られた。

・施設関連

- 図書館（かなり多数、貸し出しや予約だけでも使いたい、卒論生・修論生以外にも配送サービスをしてほしい、課題は図書館が使えないことに配慮してほしい、参考文献を購入すると言われる）
- 研究棟、生協、学食（自炊の負担）、キャンパスプラザ、自治会室（過去問）、実験室（ALESS）など

・学習関連

- 参考文献の収集に困る（ALESS/SA や初ゼミ・その他レポートで必要、GACOS で学外から使えるものが少ない、図書館が開いていない、自費で買った）
- 教科書について（開講に間に合わなかった、在庫切れでまだ届いていない、郵送の送料が高い）
- オンライン授業について（最初に2週間の遅れを取り戻すために進度が速い、心身が疲れる、集中できない、いつまでオンラインでやるのか方針を示してほしい、通信環境など環境整備にお金がかかった、課題が多すぎる）
- その他（資料の印刷が大変、学内でしか使えないソフトウェアがある、ITC-LMS が落ちる、不開講が多く履修を大幅に変更せざるを得なかった、スポ身がなく運動不足）

・成績評価と進学選択

- オンライン試験は不公平性を排除できないのでやめてほしい、今学期は成績づけを保留してほしい
- 進学情報センターが空いていない、底点などの情報が知りたいが得られない、相談できない

・その他

- 人間関係（課外活動が禁止されており友達ができない、気軽に授業の内容を質問できる同級生がいなくなり学習に支障が出る）
- 帰省して誰も住んでいない家に家賃を払い続けている、健康診断を受けられなかった学生はどうなるのか、情報が入ってこない、新歓活動に苦勞している、部活など課外活動も条件付きで認めて欲しい

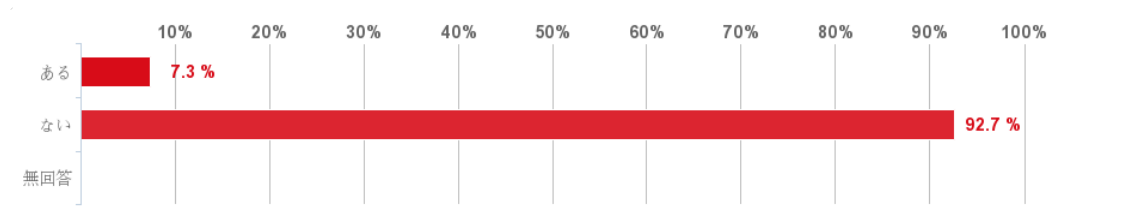
Q7 英語中級、上級の抽選登録を忘れた、または、登録すべきことが分からなかったことはありますか。

回答数：532

○概説

英語中級・上級の抽選を忘れた生徒は 7.3 パーセントにも及んだ。広報などを積極的に行うなどの対策が求められる。

○グラフ



Q8 各セメスターごとに、英語中級、上級の希望順位を何位まで登録したか、何位に当選したかをお聞きます。

1. 「未履修」は、履修する意思がなく、抽選登録をしなかった場合、または、新入生の方で1A, 2S について答える時、登録と当選両方の設問で選択してください。
2. 「登録忘れ」は、履修する意思があったものの、抽選登録を忘れた場合に、登録と当選両方の質問で選択してください。
3. 「全て落選」は、抽選登録をしたものの、全ての授業に落選した場合に、当選の設問でのみ選択してください。
4. 留年、降年により、同一のセメスターを複数回経験している方は、そのセメスターの設問では直近に英語中級を履修したセメスターについて回答してください。いずれのセメスターでも履修していない場合は、直近のものについて「未履修」または「登録忘れ」をお答えください。

回答数：532

○概要

- ・1S クラス指定型の授業に関しては、第6希望以降も登録している学生の割合が最も多く 51.3%であり、登録忘れの学生が 2.1%、全て落選した学生が 1.7%と比較的少数であった。全クラス型に関しては、履修希望者がクラス指定型よりも少ないにも関わらず登録忘れの学生が 3.9%と多く、全て落選した学生も 2.4%とクラス指定型より多かった。
- ・1A クラス指定型の授業に関しては、履修希望者が 1A クラス指定型よりも少ないにも関わらず、登録忘れの学生が 1.3%、全て落選した学生が 1.3%とほとんど減少しなかった。
- ・1A 全クラス型、2S の授業に関しては、そもそも履修希望者が1割に満たないため、登録忘れ・落選に関する得られたデータが少なかった。

○結果の詳細と問題点の分析

クロス集計の結果、企画書で挙げられていた「多くの希望を出したにも関わらず、抽選に全落ちしている人が多発している」という問題に関して、志望登録数に対する抽選が通った人数の割合に有意な差がないことが実証された。

○グラフ(設問別)

1S クラス指定型 登録したのは何位まで？

未履修 登録忘れ 第1希望 第2~3希望 第4~5希望 第6~8希望 全て落選 無回答



1S クラス指定型 当選したのは？

未履修 登録忘れ 第1希望 第2~3希望 第4~5希望 第6~8希望 全て落選 無回答



1S 全クラス型 登録したのは何位まで？

未履修 登録忘れ 第1希望 第2~3希望 第4~5希望 第6~8希望 全て落選 無回答

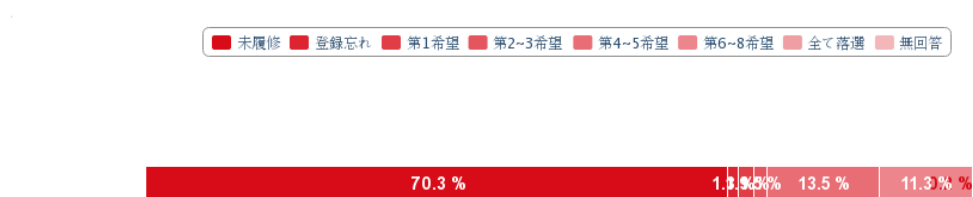


1S 全クラス型 当選したのは？

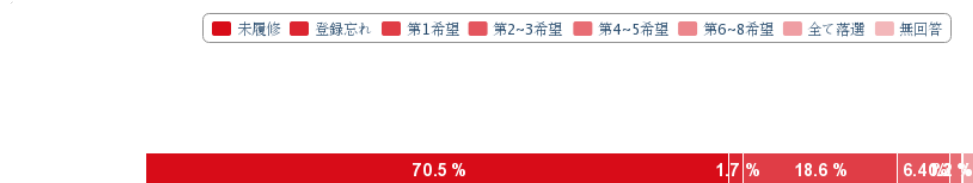
未履修 登録忘れ 第1希望 第2~3希望 第4~5希望 第6~8希望 全て落選 無回答



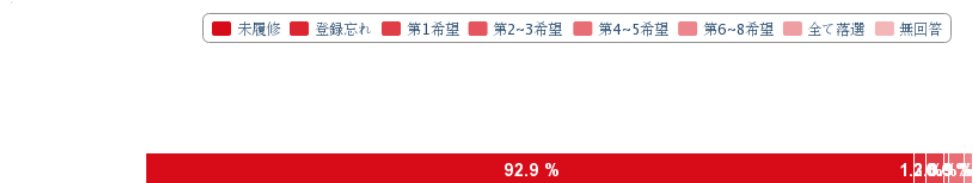
1A クラス指定型 登録したのは何位まで？



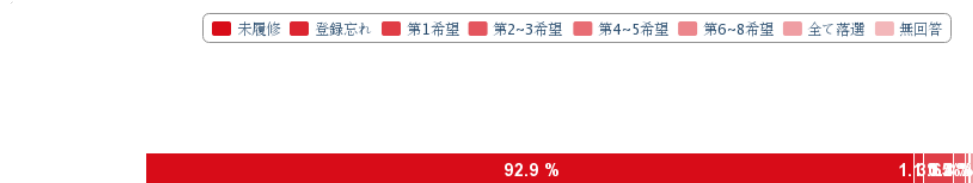
1A クラス指定型 当選したのは？



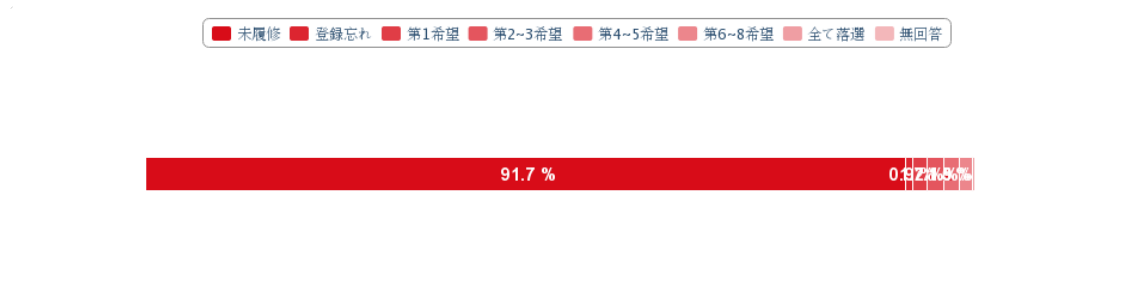
1A 全クラス型 登録したのは何位まで？



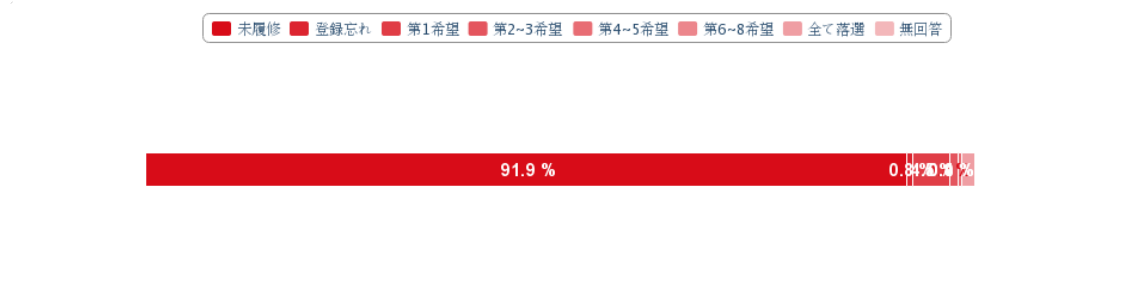
1A 全クラス型 当選したのは？



2S 全クラス型 登録したのは何位まで？



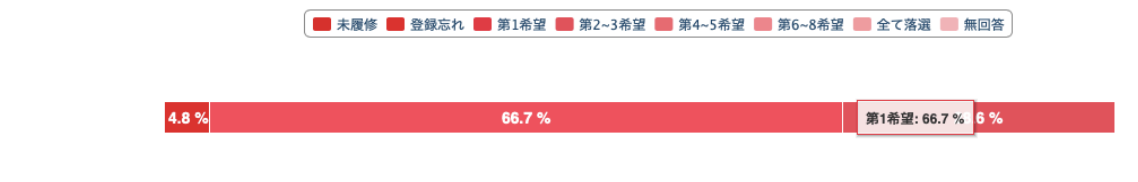
2S 全クラス型 当選したのは？



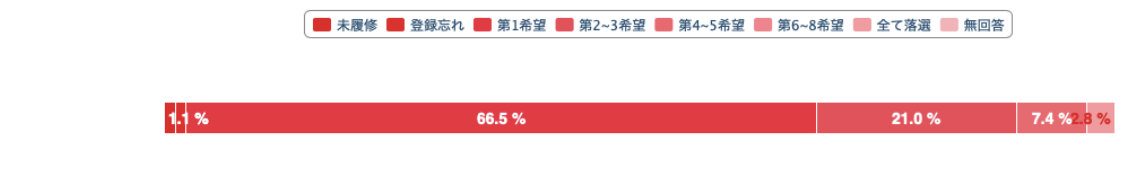
○グラフ(クロス集計)

1S クラス指定型 当選したのは？

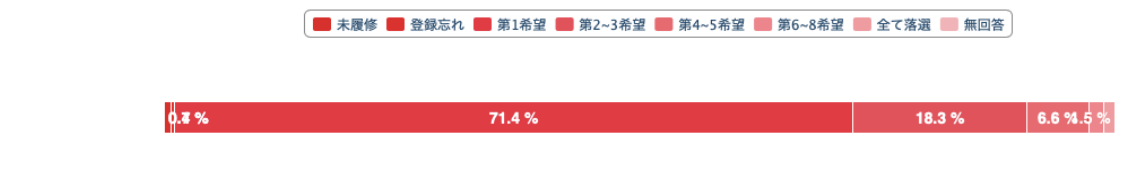
"Q8"の"1S クラス指定型 登録したのは何位まで？"で"第2~3希望"を選んだ回答者 (回答数: 21)



"Q8"の"1S クラス指定型 登録したのは何位まで？"で"第4~5希望"を選んだ回答者 (回答数: 176)



"Q8"の"1S クラス指定型 登録したのは何位まで？"で"第6~8希望"を選んだ回答者 (回答数: 273)



Q9 過去の講義において、試験のレポートや答案の返却、または講評を教員に要望したのにも関わらず、要望が断られてしまったという経験はありますか。講義名や断られた理由を含めて詳しくお聞かせください。

回答数：123

○概要

返却を希望し回答がなかった例を4例確認できた。

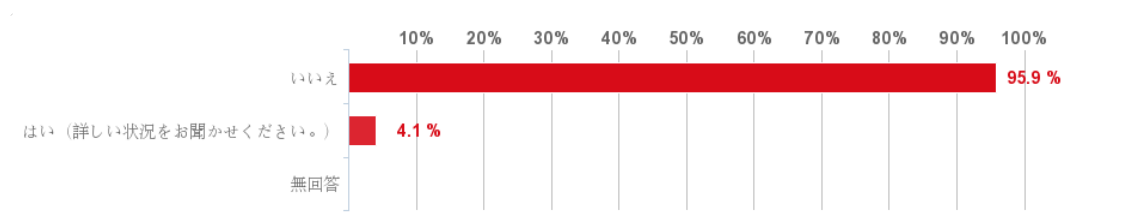
○結果の詳細と問題点の分析

数としては少ないが、最も危惧されるべき「自分の成績が明らかに想定と異なるにも関わらず、そのことについて教員と直接連絡を取ることが公的には許されていないため連絡できない」ということが実際に起きていることが確認された。試験結果の確認や講評を求めるために、学生が積極的に教員と連絡が取れるようにしなければならない。

○記述回答(4件)

- ・ 1A セメスターの構造化学において、原評価に納得がいかなかったのでテストの点数を教えてほしいとメールしたが、点数については教務課を通じて連絡する様にと返事があり、一方で教務課では落単者以外からの点数についての問い合わせを禁止されていた。
- ・ インフルエンザ感染のため、レポート提出週の授業を欠席し提出出来なかったため、教務課に教授に連絡をとって貰う約束をしたが何の返信もなく提出できずに終わった。せめて提出の受け入れを拒否されたのか、教授からの返信がなかったかぐらいの返事は大人として最低限のマナーを守ってして欲しかった。
- ・ 物性科学(青木教員)に小テストやレポートの評価結果を要望したが、断られた。そもそも差がつけにくい形式のレポートや小テストだった為、公開すると抗議が上がりそうだからだったのかもしれない。
- ・ Aセメの中国語一列で10不可をつけられ進振りの条件を満たさず突然降年することが決まり全く納得できなかったが、その理由を全く提示されなかった

○グラフ



Q10 特定の講義において、試験やレポートの講評がなされた場合、自らの今後の学習に役に立つと感じますか。

回答数：532

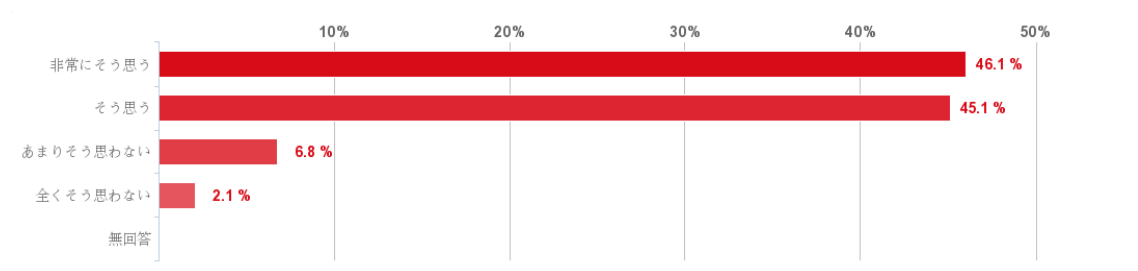
○概説

「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生は合わせて 9 割にも及んだ。学生の講評に対する需要の高さが伺える。

○結果の詳細と問題点の分析

講評に対して需要が高いにも関わらず、実際に教員に講評を求めるにまで至っていないことが考えられる。試験結果の確認や講評を求めるために、学生が積極的に教員と連絡が取れるようにしなければならない。

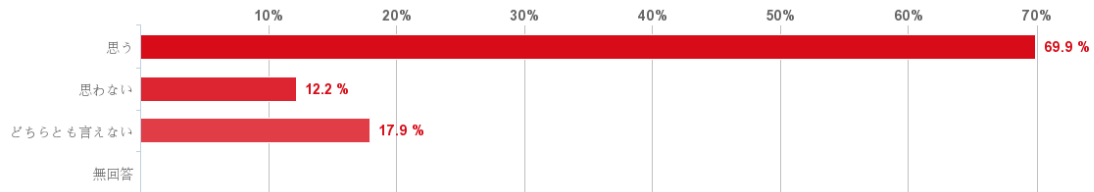
○グラフ



Q. 11

志望集計時における平均点の 0 点算入について、これを不便だと思いますか。

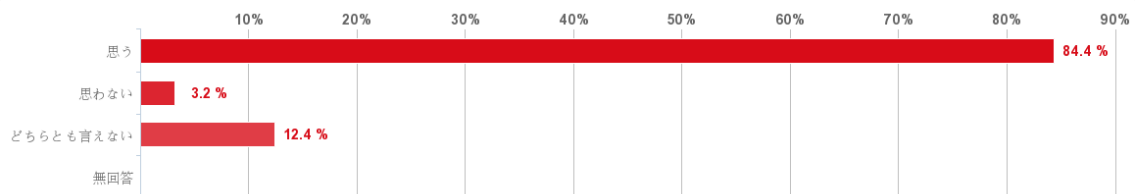
(回答数: 123)



「思う」がほぼ 7 割である。ただし、回答数はそれほど多くはない。

Q. 12

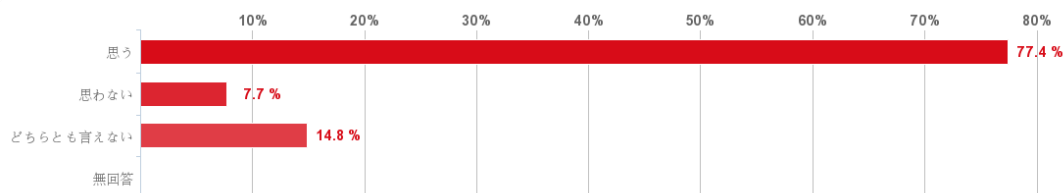
第一段階の内定者最低点(底点)を UTAS で閲覧できるようにすべきだと思いますか。(回答数: 532)



「思う」が 84.4%を占めているとともに、「思わない」が 3.2%にとどまる点も注目できる。

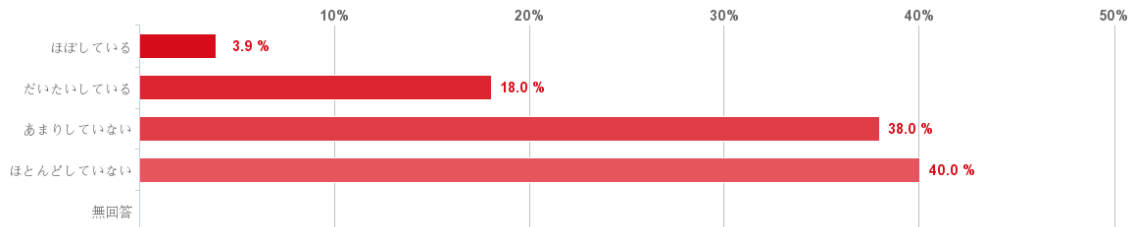
Q. 13

得点を自由に打ち込んで平均点を計算できる公式のサイトまたは UTAS の機能は必要だと思いますか。(回答数: 532)



Q. 14

進学選択のシステムについて、いつどこでどのような情報が開示されるか把握していますか。(回答数: 532)



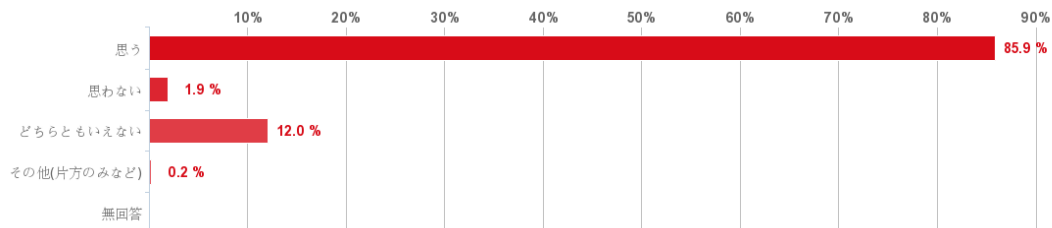
「あまりしていない」「ほとんどしていない」を合わせると 8 割に近い値になる。

Q. 15

現在のキャンパス封鎖が続いた場合、進学情報センターの資料が閲覧できなくなることが予想されます。これらの資料を、

- ・資料室限定公開の資料については、学内生限定にインターネット上で公開
- ・各学部等の web サイトで公開されている資料については、リンクの集約

をすべきだと思いますか。(回答数: 532)



「思う」が 85.9%を占めているとともに、「思わない」が 1.9%にとどまる点も注目できる。

Q. 16

進学選択について、他にもご意見、ご要望や不安、また、こうすべきという解決策等ありましたら、お教えてください。

(自由回答。「特になし」等の回答を除いたものを以下に分類して掲載。)

底点の情報開示関連：

・底点がわからないために口コミや過去の点数に頼らざるをえず、非常に困っている。進振りの点数が公表されれば、情報収集の必要がへりもっと学業に専念できると思う。また、進振りで底点の高い学科に、推薦で学業成績も著しく悪く、進学すら危ぶまれる学生がいて、枠が減ってさらに競争が激化するのは極めて不平等だと思う。推薦生は第一段階・第二段階の枠に入れないでほしい。

・第一段階のみならず、第二段階においても点数以外の指標を用いない区分については最低点を公表しても良いのではないのでしょうか。

・低点を開示してほしい

・そこ点が公開されていないのが不安である

・定員数が非常に少ないコースなどは年度によって大きく底点が上下する。少しでも確実な情報が欲しいのになぜ底点开示をやめたのか理解できない。人が来ない学問の存続のために生徒個人の人生を犠牲にするのか。

・底点等の情報開示が不十分だと思う。点数の推移はもっと情報を集約して公開してほしい

・底点は公開してほしい。

・学部進学に必要な点数などを知りたい

・現在第一段階の点数分布のグラフを見れないのは非常に困る。

・最近の底点を web 上で確認したい

・どのくらいの点をとればいいのかわからない

・進振り最低点がわからない

・各学部・学科・コースに関する情報が少なく、イメージがしづらいなど感じることがあります。また底点などデータを UTAS から見られるようにするのはとても良い方策だと思います。

ガイダンスや手引き等における情報提供関連：

・ガイダンスの日程をもっと増やしてほしい

・入学時のガイダンスがなかったため、何が何なのかよくわからない。登校開始後で良いのでガイダンスを実施して欲しい。

- ・ガイダンスのzoomのリンクがガイダンスが始まってからや終わってからメールで送られてくるのをどうにかしてほしい
- ・学部ガイダンスもオンラインで行われたようだが、人数制限の問題で入れず、その後どこで行われたか分からなかった YouTube で動画を公開する形式にしてほしい
- ・履修の手引きの該当箇所があまりにわかりにくい。例えば、要求科目のところに 「A、B」「C、D」 から 2 科目 などの表現があるか曖昧すぎる表現ではないか。

その他の情報取得関連：

- ・とにかく情報がバラバラにくるのが不満
- ・学部図書館などに行けないと卒論や便覧、教科書の閲覧を行えないため、進学選択の材料が圧倒的に不足している。
- ・ひとまとめにしてページ内においてほしい。
- ・知識格差を埋めるため入学時ガイダンスで公式がより詳しく説明すべきだと思う。
- ・情報は一箇所にまとめてあるとうれしい
- ・進学情報センターの資料が閲覧したいのでインターネット上で公開してほしい
- ・キャンパスに行けず、知り合いの先輩もいないので情報不足
- ・学生会館での情報収集もできず、どのように対策すれば良いのかよく分からないので不安です。
- ・お願いします、人生がかかってます。色々調べられるよう情報開示していただきたい。諸々
- ・情報弱者なのでインターネット上のみで大事な情報を公開されると非常に辛い。資料もややこしいのでほぼ把握できていない。
- ・情報格差により有利不利がつくべきではないと思う。
- ・どこに情報があるのかがよくわからない。学部ガイダンスがあったが、資料や zoom 録画が公開されているかどうか分からない(もしされていなければ公開してほしい)。
- ・色々調べても、HP や配布資料はまるで UI を考えていない作りで、読みづらいしわかりづらい。
- ・学部に関する情報が入ってこない
- ・情報格差が生じるのを防いでほしい
- ・先輩らとのつながりもないので情報がなさすぎてわからない
- ・いかんせん情報が少ないのが不安です…

・例年に比べ学習や大学生活全般における情報が手に入りづらいと感じている。クラス内のやりとりも Line か Zoom に限定されており、クラスによってはその二つさえも有効に機能していない様である。学生間での新たな、より深刻な情報格差が進む懸念を抱いている。

・先輩などの生の意見が聞きたい。

・1年の時の成績も進学選択に必要であることから1年のうちから学部ガイダンスや進振り制度の説明をしていただきたいです。また人気の学科は定員数を挙げるなどなるべく全員が希望の学科に行けるような配慮をしていただきたいです。

「よくわからない」関連：

・あまりはっきりとシステムの内容がわかっていないので不安です。

・いまいち点数の付け方がわかっていない

・進振りの平均の仕組みなどについて先輩に聞ける機会もあまりなくまだよく理解していません。

・新入生には進学選択がどんなものか正直想像つかない。

・概観が掴めておらず手探り状態

・訳がわからない

・一年生なのでよく状況が分かっておらず、特段の意見はできません。

・何をすればいいのかから把握できていない

・とりあえず1Sが終わってみたいことにはあまり点数のことなど実感が湧きません。

・今のところはまだ進学選択について十分に理解しておらず、自分の意見をしっかりと持つ事が出来ていません。

・枠の偏りを減らしてほしい

オンライン試験に係る不公平性についての不安関連：

・従来の試験より、真面目にやっていた人が報われないのではと不安。

・オンライン講義中の成績が進学選択に影響する場合の不公平さが不安です。

・成績評価が例年と異なる可能性があることをどう扱うか。

・どうしようもないことだが成績の付け方がぶれそうなこの状況で進学選択に向けて頑張らなければならないのが不安である

・オンライン化によって成績評価方法が変わらざるを得ないのに対し、進学選択の方法が同じだと不具合が生じるのではないか。恐らくオンライン授業、レポート中心の評価だと、教員側は低得点も高得点もつけづらいため、点数にあまり開きが出ない。学力や努力が進学選択に反映されなくなるのではないか。

- ・オンライン試験は単なる持ち込み可の試験ではなく学生間で答えを教え合うという行為を防ぐことができない最悪の形式なのでこの成績を進学選択に用いることに賛成できません。オンライン試験で何が不正とされるのかという基準すら示されていない完全にアナーキーな状態で、もはや学生の理解度を測るという目的とはなんの関係もない儀式のようなものになるのだろーと思います。
- ・不正行為が容易なオンライン試験だと、まじめにやる人が進振りで損をするのではないかな？カンニングを誰もしないとは到底考えられない。
- ・今学期の成績が進振りに含まれるのは怖い。
- ・オンライン試験での不公平な点数が進振りに影響するのは納得できない
- ・試験がオンラインで実施されるとのことですが、不正を防止できるのか疑問です。また技術的なトラブルに対するケアが適切に成されるのかについても懸念しています。
- ・不正の蔓延るオンライン試験に無理がある以上それをもとに進路が決まるのも無理がある
- ・対面での試験が実施されないので成績が公平につけられるのか不安である。
- ・今年のSセメの試験はオンラインで実施されるが、その点数が進振りに使われてしまうのが不安

その他（成績等に関する）不安関連：

- ・理転を考えていますが、要求科目が多くそれらを取ることで平均点が下がり逆に選択肢が狭まっていくことが不安です。
- ・今期の数学系科目の評価がどうなるのか心配、2Sなので進学選択への影響も大きい
- ・成績によって行きたい学部に行けないかもしれない不安
- ・進学選択のために成績を気にしすぎ、他の大学よりも教養課程が長いことのメリットを損失してしまうのではないかと不安です。また教員によって同じ必修科目でも難易度や課題の負担が大きく異なるため平等に成績がつけられているのかが不明確だと感じます。
- ・周りの学習状況がわからず不安である。
- ・どのくらいで単位が来るのか予測がつかない
- ・進学先が決まらないうちで単位を取ってても留年するのかな。そしたら潔く退学するか。

進学選択の制度に係る根本的な不満・疑問・意見関連：

・2S1 タームで物理実験を選択した人は2S1での点数集計時に0点参入される単位数が増えてしまい、正確な計算ができなくなる可能性があるので、2Sの実験は除外して点数集計をして欲しい。

・試験期間が1週間程度延びるとの通知があったが、進学選択のスケジュールに変更はないのかどうか。

・文系にもっと裾野を広げるべき

・進学選択のため敢えてFLOWのレベルを落とすのが有効だと聞いた。学習意欲の低い者が低レベルクラスに敢えて行き、高い得点を取るのは本末転倒であると思う。FLOWのレベル分けは大学が行ってほしい。

・進学振り分け制度が存在するせいで進振り点が気になって好きな講義を履修できない

・今年に限っては、第二段階の面接を全てオンライン化してほしい。

・理点しやすくしてほしい

・全部推薦入試のような形にすべき

・第一段階選抜の希望調査で不足科目の点数は0点にせず母数をその時点で取得済みの履修科目のみで計算する手法に変更すべきだと思う。点数が大幅に不正確なまま順位が開示されると例えば自分のように理転したいが第二段階には文系枠が無い学科を志望しているために第一段階が賭けになってしまうとかなり困る、といったことが起こるため改革を切望している。

・クラスで情報を共有していると、必修科目の課題の負担等が担当教員によって大きく異なることが気になる。課題の量が全く異なるのでは、課題の提出による加点において、1点あたりの負担がクラスによって変わることになり少し不平等に感じる。

・各学部の研究内容に関する重み付けをもう少し行ってもいいと思います。(理学部情報科学科なら情報の重率を上げ、2外の重率を下げるなど)

・より多くの人が自分の計画で4年間自由に勉強できるようにしたほうがいい

・進学選択条件の第二外国語の平均点合格を無くして欲しい そのせいでSセメで単位を取ったが故にAせめセメでとんでもなく低い点数をつけられ、その教授1人の勝手な採点により一発で降年を決められた 後期課程の条件も別に存在するため、その条件だけでいいのではないか

・進振りで有利になるためだけに興味はないが点数を取りやすいとされる授業を履修せざるを得ない状態は何とかすべき。

・科類枠で応募するよりも全科類枠で応募したほうが底点が低い学科がいくつかあるのは不公平だと思う。そのようなことがないよう募集人数の調整などを行ってほしい。

- ・先生毎に点の取りやすさが違うため、「本当に取りたい(興味のある)授業」よりも「進学選択に有利になる先生の授業」を取る風潮が強いと感じる。
- ・人気の学部学科は枠増やしてあげた方が良いと思う 法進だからそんな関係ないけど
- ・入試の点数も考慮してもらえるとありがたい
- ・社会主義的な理想社会を築くために進振りは点数に関わらず希望制にして平等にすべきである(◁)

- ・底点の高さに制限を設けるなど、なんらかの形で競争の激しさに上限を設けて欲しいです。現状では人気学科の底点が噂によればかなり高く、学んでみたいが負担が大きそうな授業の選択に二の足を踏んでしまうことが多いです。点のためよりも学びたいことを学べるような環境の方が学生のためにもいいと思います。
- ・全員が希望の学部に行けるようにすべき!(無理そうですね笑)
- ・第一段階で第2志望まで選ばせてほしい ミスマッチの減少が望める

その他：

- ・履修登録を忘れていないかと不安になります。引き続きメールなどでリマインドしていただけるとありがたいです。
- ・授業が本郷であるか駒場であるかを知りたい
- ・東京大学での学習を目指す受験生に対して、進学選択の枠組みをもっとわかりやすく伝えるべき。例えば、科類と学部の「入りやすさ」などは、きちんと枠を説明しないと抽象的にしかわからないはずである。
- ・通常の形態での試験が難しいとはいえ、普段より重い課題を与えられても、後で個人的に質問できる機会もないので、作成にやや苦戦している。
- ・UTESがあるので平均点の算出などには困ってないです。

Q17 学習制度について、Q3に関連しての要望・補足したい事項や、Q3に関連しない学務制度関連等に関する要望はありますか？

回答数：98 無回答: 434

○回答

・特になし(多数)

・情報公開に関して

・東大で取得可能な資格に関する情報を網羅的にまとめたサイト等を開設してほしい。資格ごとに、進学すべき学部・学科、取得すべき単位数や単位認定される授業一覧、手続き方法が知りたい。就活を含めた今後のためにも、効率よく情報を収集し、計画的に資格を取得したいのだが、現状、そもそもどんな選択肢があるのかすら分からない。

・来年度入学者のため、履修登録情報などを集約して発表してほしい。

・キャップ制に関して

・キャップ制を緩和して欲しいです。

自分はTLP生なので満足出来るだけの講義数を受講できていますが、もし自分がTLP生ではなくなったら途端に受講出来る講義数がキャップ制の為に大幅に減り、不満に感じるようになると思います。

・必修科目の指定に関して

・理科生の「社会科学」「人文科学」の履修について

社会科学・人文科学の基礎的な科目は「基礎科目」として開講されているが、理科生はこれら基礎的な科目を受講できない。これは、幅広い科目を履修することを目的とした前期課程の教育理念に反するのではないかと思う。

・理科一類生「生命科学」の必修について

なぜ同科目が必修なのか全くわからない。「理科生だから生命科学の知識はあった方が良い」と言うのはパターンリズムにすぎず、理科生だろうが文化生だろうが本当に基礎として必要な科目以外は選択とすべきではないか。例えば、なぜ生命科学は必修で惑星地球科学は必修に入らないのか、合理的な説明ができるのか甚だ怪しい。必修は学生の時間を拘束する重大な意味を持ち、合理性がないのであればやめるべき。

・第二外国語の必修を無くすべきだと思う

・総合科目の選択の余地が少なすぎる

・英語中級がほぼ必修と同じ扱いで追い出しが他のし系列科目では追い出せないというのは英語が苦手な生徒には不利に働いていると感じるため改革して欲しい。

- ・履修しなければならない科目が多すぎると思います。
- ・スポ身は合格・不合格で判定し、進振りに反映せず、1 セメスターで 2 単位取得できるようにしてほしい。

・基礎科目の授業内容に関して

- ・ ALESA の教員は、初ゼミのように何人かから選べるようにした方がいいと思う。テーマも各教員ごとに変えて。
- ・ 論文やレポートの書き方がさっぱり分からないので、きちんと教えてほしい。ガコス使いづらい。そもそも全体的に説明の資料がわかりづらい。
- ・ 物性化学を必修で受講しておりますが、昨年度の構造化学と内容がほぼ全てかぶってありました。先生にも申し上げたのですが、クラスが合同で行われていることと、先生の用意の都合上で対応は取られませんでした。

事前に先生同士で一年次に何を授業で扱ったのかを共有してくださるとより良い授業構成となるとと思います。

・試験・成績評価方法に関して

- ・ 英語一列の試行試験だが、一週間前の告知で休講期間の六限に強制受験というのは横暴ではないか。アルバイトやサークルなどの予定が既に入っている学生もいると思う。実際に主題科目のゼミの実施時間に変更され、大いに迷惑した。
- ・ 「構造化学」「電磁気学」の追試験
なぜ数理科学は追試験 C があり物質科学には基本的に追試験 C がないのか。成績にも影響し不平等である。
- ・ 大学側も忙しいのはわかるが、各教科の評価方法を早く知りたい。S1 タームが終わり講義によっては終了するものもあるのにまだ保留としているものが多く存在するのは少し納得がいかない。
- ・ 学期末だけでなく、セメスターの途中でも小テストやレポートの点数をもとに、成績の途中経過を見れるようにしてほしい。学期が終わるまで成績が見れないのは非常に不安である。そうすることで、各授業でどのように得点が計算されているのかもクリアになる。

・英語中級の抽選に関して

- ・ 英語中級で、不開講や教員の担当クラス変更により、他のグループは第 8 希望まで登録できたのに、自分のグループは第 4 希望までしか登録できず、全落ち率が上がる不安を感じたため、このような措置をとるならば、全落ち率等は変わらないというような発表が欲しかった。

・初年時ゼミナールの抽選に関して

- ・ 初年次ゼミナール文科で履修できるものが予め絞られているのは不公平と感じます。どちらにせよ抽選で振り分けられるのだから必修とかぶっていない授業全てに履修希望を出せることにしてはいけないの

でしょうか。私は自分のグループの候補に興味を惹かれるものが全くなかったので、今年度は一度も出席せず再履修で好きなものを選ぶことにしましたが、他クラス聴講の点数上限が 75 なのでこのことで進振り上かなりの痛手を被りました。

・教職科目に関して

・教職免許取得に関してあまり情報が追えていないので少し困っています。先輩や卒業生と話す機会などがあれば積極的に利用したいなと思います。

・進学選択制度に関して

・興味はあるけど、単位が取れなさそうで断念した授業がある。もぐろうとしたが、履修者以外が該当授業の itc-lms の講義情報を見ることができず、もぐることができなかった。追い出しができない科目でも、単位の回収を気にせず履修できるようにしてほしい。

・オンライン講義に関して

・オンライン授業で、全体に向けて聞こえてしまう質問しかできず、個別にわからないことの消化ができない。

・UTAS に課題の情報のみを集めたページが欲しい。一つ一つ授業のページを開くのは大変だし、見逃す可能性がある。

・その他

・コースツリーが導入されず残念。

・コロナによって開講しない授業が増えたことによる影響を考慮すべきではないか。

・小テストや課題の量を考えてほしい。

・英語一列の G3 って必要ですか？

・履修の仕組みを学べる体制を整えて欲しい

・必修準必修教員の当たり外れが大きい。

・友達と一緒に勉強がしたい

・ここまできると Q3 がなんだったか分からない。設問の作り方を考えて欲しい。(多数)

・こういったアンケートは本当に教員または学校に伝わってるのかを知りたいです。

Q18.現在の施設・設備等への満足度をお聞きます。以下の各項目について、満足度を、{満足である、やや満足である、どちらとも言えない、やや不満である、不満である}の中からあなたの実感に最も近いものを選びください。

	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	知らない	無回答
Q18S1 フリースペース	5.8%	8.8%	11.1%	3.2%	2.4%	67.9%	0.8%
Q18S1 食堂	8.3%	12.4%	10.7%	10.0%	5.8%	52.1%	0.8%
Q18S1 自動販売機	8.1%	7.1%	11.7%	5.8%	1.9%	64.7%	0.8%
Q18S1 食堂外の食事環境	4.7%	6.0%	10.7%	8.1%	5.6%	64.1%	0.8%
Q18S1 購買部・書籍部	17.1%	19.0%	10.9%	3.0%	0.8%	48.7%	0.6%
Q18S1 学生用ロッカー	3.9%	7.1%	11.8%	5.5%	3.4%	67.5%	0.8%
Q18S1 教室設備(Wi-Fiを除く)	4.1%	8.3%	14.3%	4.7%	2.3%	65.6%	0.8%
Q18S1 学内Wi-Fi	2.1%	2.3%	8.5%	10.2%	13.2%	63.3%	0.6%
Q18S1 駒場図書館	12.8%	10.3%	8.6%	3.0%	0.4%	64.3%	0.6%
Q18S1 トイレ環境	15.4%	9.6%	9.4%	4.5%	1.5%	58.6%	0.9%
Q18S1 運動施設・シャワー	3.4%	5.5%	12.6%	3.8%	2.3%	72.0%	0.6%
Q18S1 部室・サークル活動のスペース	4.5%	5.5%	12.0%	5.5%	2.8%	69.0%	0.8%
Q18S1 学生の自主活動	10.3%	17.3%	14.1%	3.9%	1.7%	51.9%	0.8%
Q18S1 事務職員の学生に対する対応状況	9.4%	15.8%	12.6%	5.1%	1.5%	54.5%	1.1%
Q18S1 教室借用制度	3.4%	7.1%	12.4%	2.4%	0.9%	72.6%	1.1%
Q18S1 自治会主催自主ゼミ	3.2%	6.8%	12.2%	1.5%	0.6%	75.0%	0.8%
Q18S1 授業料・奨学金	12.2%	16.9%	30.8%	7.3%	4.1%	27.6%	0.9%
Q18S1 保健面(身体面)のケア	9.6%	13.9%	16.5%	3.6%	1.3%	54.3%	0.8%
Q18S1 精神面のケア	8.6%	11.8%	17.3%	3.2%	2.4%	55.8%	0.8%
Q18S1 学生宿舎の設備	4.5%	3.9%	10.9%	2.1%	2.4%	75.2%	0.9%
Q18S1 学生宿舎のその他環境	3.6%	4.3%	11.5%	1.7%	2.4%	75.4%	1.1%

Q19S1FA Q6に関連しての要望・補足したい事項や、Q5に関連しない施設・設備等に関する要望はありますか？

学生用 ロッカーの清掃をもっとしてほしい。食堂の衛生環境をよくしてほしい。ウォーターサーバーと食器が汚くて正直使う気がしない。また、食堂のレベル（味、設備）も六大学の中で最悪なので是正してほしい。

設備はまだほとんど利用していないのでわかりません

運動会の部活であるのに部室を得られていなくて不便。(運動会航空部)

キャンパスプラザの中か周辺に自販機を置いてほしい。ロッカーを1人一個にしてほしい。1年生でも1年間全く使っていない人もいるので、全員に貸し出すのではなく、希望制にすれば数は確保できると思う

キャンパスプラザの空調設備を整えてほしい。食堂が学生の人数に見合った定員ではない。教室が汚い。椅子の座り心地が悪すぎる。机が狭すぎる。コンセントをさせる場所を用意してほしい。

授業はしばらくオンラインでいいので早く大学封鎖を解いてほしい

購買の商品が高い

2階の生協食堂にはまだ机を増やせるだけのスペースがあると思うので、増やしてほしいです
冷水機を増やして欲しい

運動施設を利用する学外の子供などが煩わしい

構内には、入試時、手続き時しか入っていないため、何も分かりません。

食堂のテラス席に壊れている席があるが、なかなか直らない。怪我をする危険があるので対応を求めたいです。

wifiに関しては、u-tokyoのWi-Fiを使わなければ、gagos等を利用する際に「学外アクセス」となるが、u-tokyoのWi-Fiが弱いので利用できず、不便である

シャワーが汚いです。

図書館に語学関連の書籍が少ない（多読用の書籍など）

キャンパスプラザの部屋にエアコンが欲しい

トレ体のトイレを何とかしてほしい

Wifiなんとかしてほしい

食堂が昼休み時に混雑して二限目が終わってすぐに並んでも、空席が見つけられない等で三限目に間に合わない場合がある。席数を増やしてほしい。学生用ロッカーは二人で1つを使用していますが、ペアになった人の荷物が多くて不便だったのと、プライバシーが気になったので、多少小さくなくてもいいので一人一つ支給してほしい。

学内Wi-Fiの場所による接続性を改善してほしい

前に戻って設問を確認できないのにQ19にこの設問を配置すべきでないと思う。

休日の食堂の開館。自販機の値段下げて欲しい。

書籍部をもう少し大きくしてほしい。

学生用ロッカーが遠い。自動販売機が手軽な場所に少ない。バリアフリーが不十分。ハードの問題もあるが、例えば7号館は10号館から行くことができるが、7号館への入り口の鍵が閉められていることもあり、意味をなしていない。運用の面から改善の余地があると思う。

21KOMCEE West 地下1階の閉鎖時刻がまちまち。いつ閉めるか決めて欲しい。情報教育等で教室の開室時間がなぜか08:15分と建物の開室時刻より遅く、予復習の時間が失われている。

ボ●ト部の部室はいつになったら大きくなるの！？私も第二体育館にあったボ●部の練習場使いたかったわ！生理学測定室じゃ狭いのよ！

食堂の収容可能人数の少なさ

女子トイレをもっと増やすべき

早く駒場に行かせてください

トイレをもう少しきれいにしたい

wifiが弱すぎる

多目的トイレを増やしてほしい

キャンパスに通えていないので何とも言えません。

ワガママなのはわかってるができる限り早く部活できるようにしてほしい

なにも知りません。

図書館の女子トイレの個室内のカバン掛けを網棚でなく、ドアに引っ掛けるタイプにして頂きたいです。便器の側にカバンを置くのは不潔に感じます。

Q20

以下の各項目について、満足度を、{満足である、やや満足である、どちらとも言えない、やや不満である、不満である}の中からあなたの実感に最も近いものをお選びください。

概説：不満であると答えられた項目はあまり多くないが、授業料、奨学金については不満、やや不満が1割を超えている。「知らない」の回答が多く、利用者が多数派ではないと見られる。

学生の自主活動
(回答数: 532)

満足である やや満足である どちらとも言えない やや不満である 不満である 知らない 無回答



事務職員の学生に対する対応状況 (回答数: 532)

満足である やや満足である どちらとも言えない やや不満である 不満である 知らない 無回答



教室借用制度 (回答数: 532)

満足である やや満足である どちらとも言えない やや不満である 不満である 知らない 無回答



自治会主催自主ゼミ (回答数: 532)

満足である やや満足である どちらとも言えない やや不満である 不満である 知らない 無回答



授業料・奨学金 (回答数: 532)

満足である やや満足である どちらとも言えない やや不満である 不満である 知らない 無回答



保健面(身体面)のケア (回答数: 532)

満足である やや満足である どちらとも言えない やや不満である 不満である 知らない 無回答



精神面のケア (回答数: 532)

満足である やや満足である どちらとも言えない やや不満である 不満である 知らない 無回答



学生宿舎の設備 (回答数: 532)

満足である やや満足である どちらとも言えない やや不満である 不満である 知らない 無回答



学生宿舎のその他環境 (回答数: 532)

満足である やや満足である どちらとも言えない やや不満である 不満である 知らない 無回答



	大いに賛成	ある程度賛成	どちらとも言えない	ある程度反対	大いに反対	無回答
Q21 あなたは、9月入学に賛成ですか。	13.7%	25.8%	20.5%	22.6%	17.5%	0.0%

	できる限り早く (1～2年で)導入 すべき	5年程度時間は かかっても十分に 制度設計をして 導入すべき	長期的な目標 (10年以上)とし て導入していく べき	導入すべきで はない	その他	無回答
Q22 9月入学を導入する時期について、あなたはど う思いますか。	24.8%	27.6%	17.5%	26.7%	3.4%	0.0%

Q22_5FA 9月入学を導入する時期について、あなたはどのように思いますか。

慎重論・反対論

導入しなくて良いと思うし、するなら慎重であるべき

導入するのであれば十分に制度設計をすべきだし、導入するかどうかの議論のためにも制度設計の具体的な骨子案が必要

9月入学を導入する功罪をよく検討した後、判断すべきなので、なんとも言えない。

ただし、一つ明らかなのは9月入学導入が急務ではないと思う。

導入の是非の含めて時間をかけて話し合うべき。

可能なら数年で。しかし、不可能だと思う。または、中途半端に行われる憂き目に合う。

今年度出来るならやってもいいが出来なければしなくていい

この9月から移行できないのであればやる必要はないと思う

導入時には入学者と学校（高校や大学など）の双方に多大な負担を強いる事になるので、余程の理由が無い限りは安易に導入すべきではなく、導入するに当たっても長期的な制度設計をしていくべきである。

導入すべきか、導入するとしたらどのように導入すべきかを含めて議論、検討すべき。

導入に強く反対するわけではないが、今年度の導入はすべきでない。

時期の議論はまだ早い

賛成

困難とは思いますが、9月までにコロナが収まり対面授業が可能となった場合は、今年度から導入すべきと思います。

コロナの終息が来年の9月以降になるなら早く始めるべき

今年の始業を9月にすべき

列1	海外 関係	負担 混乱	教員	就職 関係	入試	人数	学費
Q23S1FA 9月入学に変えるという構想について、考えられる利点・欠点、その他あなたの考えをお聞かせください。							
サマースクールなどの留学を考えても、前期過程では試験期間にかかるため不可能に近く、いけても日程に制限が出てしまうため非常に残念だった。	○						
9月入学に変える場合は海外の年齢とずれないように、半年繰り下げではなく半年繰り上げにすべきです。それが議論されていない現状では、9月入学に変えると1年遅れになりそうなので、その場合海外に明らかに遅れてしまう上、親の養育期間が長くなり子供の就労期間が短くなり経済的に大きな影響が予想されるので反対です。	○						
学校現場での負担が大いに増え、教員が不足する。または未熟な教員が増加したり、負担が大幅に増える。また、待機児童の問題も深刻化し、国の経済的な負担も大きい。そのほかに、社会全体の制度の変革が求められ甚大な影響を与える。留学を勧めたりするために導入すること自体は悪いアイデアではないが、現状のまま拙作で不十分な議論のまま導入することはできない。しっかりと検討したうえで、最小限の負担や犠牲が保証された場合にのみ、9月入学を実施すべき。	○	○	○				
留学生が増えるのが良いと思う。	○						
9月入学をコロナ対策のためだけに行うなら大いに反対である。コロナと9月入学は完全に切り離して考えるべき。							
留学しやすくなる 入試や就職のスケジュールが大幅に変わり混乱する	○	○		○	○		
留学がしやすくなる。ただ就職の時期もすべて、年度が9月から始まるようにするべきだと思う。	○			○			
社会制度を大きく変える必要があるため、利点より欠点の方がはるかに大きい。大学は小中高と異なり、オンライン授業が進んでいるので9月入学にする必要がほとんどない。		○					
くわしいプランがわからないので分からない							
COVID-19の感染拡大防止、外国人留学生の獲得、それに伴う大学のグローバル化(英語を使わざるを得なくなる) など	○						
現行の制度から移行するにあたってかかるコスト 一学年の長さが変わってしまうことの問題		○					
移行期の大学の事務処理の負担が大きいです（入試なども含めて）。		○			○		
1Sでオンライン授業で満足のいく授業を受けることが出来なかったため、9月入学にしてやり直して欲しい。							
移行期の学費							○
移行する際の学年がどのような扱いになるのかが不透明で不安。							
9月入学案は教育だけの問題ではなく、日本社会全体に関わることだと思うので拙速な議論は避けるべきだ。しかし、現状の日本社会には改善すべき点が多々あると日々感じるので、9月入学が社会改革の一端を担うのではないかと期待している。							
オンラインではまともに教育を受けられていない。大学生活は4年しかないのだから、受けられたはずの教育を受けたい。							
海外大学院、留学が容易になる	○						
移行期の手続き的な混乱		○					
海外と同じ時期に学期が始まる	○						
留学する学生が海外に比べて少ないのは大きな課題だと考えるので、留学がしやすくなるという点で9月入学には賛成である。しかし、社会全体の変容が必要なものであり、東大だけが先行的に9月入学を勧めることは、社会の先導という意味では意義のある事だと思うが、社会とのズレで不利益を被る学生は少なからず発生すると思う。	○						
導入するなら早い方がいい。海外とも足並みが揃うし良い。ただ例え9月入学を開始したとして、結局またコロナが流行ったら4月入学に戻したりするんですかね。	○						
仮に9月入学にした場合、一般入試が8月に行われることになる。これでは試験中に熱中症になる危険性や、冷房をつけることで外部との極端な温度差が生じ、大勢が体調不良を訴えることになる可能性が高い。卒業式及び入学式、入社式に関しても、今までのように行えば脱水症、熱中症になる方が大勢出るのは避けられない。既に9月入学を導入している国は夏場、日本ほど高温多湿ではないことを考慮するべきである。また、今回のように遅らせる形で9月入学にすると、他国よりも一年遅れをとる形になる。さらに、仮に9月時点でCOVID-19蔓延以前の状態に回復できていたとしても、そこに9月入学変更が加わればさらなる混乱を招くことは避けられないと考えられる。		○			○		
就職活動、保育園難民問題				○			
一学年の人数がめっちゃ多い年できるのやばいでしょうって思います						○	
海外進学がしやすくなる	○						

4月入学は情性で続いてきた負の遺産でありそもそも維持するに値しない。特に四季の変動が大きい日本において、世界の動きに反して冬の受験を続けるのは愚かというほかない。あげられる欠点の多くは現状維持ができなくなることへの恐怖にすぎない。新型コロナウイルスの影響を利用できる過渡期の今すぐに移行すべきだ。逆に、変えるにしても変えないにしてもなかなか決まらない場合、それこそ学生生活を不安にする最悪の決定であり、万難を排して回避すべき状態である。						
法整備が十分に整っていない場合混乱を招く恐れがある 企業の年度末と学校の年度末に乖離がある場合企業の新卒採用に影響してくると考えられる		○		○		
9月入学になって4月～8月生まれの人たちがどの学年に配属されることになるのか疑問に思う。受験生など、不利益を被る人が絶対にいないといえる仕組みでならば9月入学でもよいと思う。		○				
先程も申した通り、オンライン講義中に成績をつけそれを留年・進学選択に影響させるべきではないと思うからです。						
とくにないが、今授業は行われているのでこれ以上時間を無駄にしたくない						
移行期 入試				○		
9月入学自体に伴い、卒業後の就職までの時間差が生じるのではと心配している。教育現場で上手く入学時期を変更できたとして、数多ある企業も同時に対応できる保証はなく、学生が不利益を被る可能性も否定できない。また、大学生の寮や一人暮らしのアパートなどの契約も春からが多く、入学時期の変更にあたって契約内容の変更手続きや引っ越しの必要が生じる。この場合の労力や費用を学生自身が負担するのは難しい。		○		○		
利点:自粛中に行われなかった行事などが半年遅れ(半年追加)で行える。留学生の増加。欠点:学費の増加(ある学年まで)。急いで制度化すると必ず矛盾が生まれる。小中高を9月入学にする場合調整に時間がかかる。大学のみ9月入学にする場合半年のギャップをどうするか。有意義に時間を使える学生もいるが、基本放ったらかしにしよう。さらに8月卒業になると就職先との兼ね合いが問題。9月入社か、半年は研修期間にするなど考えられる。経済界の声が大きそうで動かなそう(偏見)。	○			○		○
高校以前や、就職とのギャップをどう埋めるかが最大の懸念と考えます。				○		
外国大学に進学したい高校生の準備期間がなくなる。移行期の1学年の人数が多くなり、教員が不足する。			○		○	
入試における公平性と準備時間の確保、研究活動や就職活動の十分な時間の確保				○	○	
大学入試は不安				○		
受験生のメンタルケアなど考えることは多岐にわたると思われます。						
利点としては海外に合わせられることや(社会の年度が4月～3月のままであれば)卒業論文に集中でき卒業してから就職活動を始められること。欠点は桜に対する情緒的な感覚や、9月入学に移行する年の学生の人生に半年のロスが生まれること。	○			○		
就活との関係。会社は9月入社ではないので半年ラグが生じる。これは高校卒業後も同じである。また入試を8月に行くと熱中症の恐れがある。暖かくするより涼しくする方が個人差があり難しい				○	○	
利点：学校生活の充実、学生生活の充実 例えば修学旅行や体育祭、あるいは選手権大会や甲子園などを中止にするのはあまりにも酷い。感染症対策とはいえ人生で一度きりのイベントを少年たちから奪うのはあまりにも惨い。9月入学にして若者たちの貴重な1年間を確保すべき。						
社会が急な転換に対応できるとは到底思えないが、少しでも長く学生を続けていきたいので自分が在籍しているうちに9月入学に移行して欲しい。						
基礎実験など、実習系の授業を大学の設備で実際に行えること						
半年分の学費を多く払わされる可能性に不安を感じる						○
就職に影響				○		
9月入学の利点として、他国の大学の制度に合わせられることが揚げられるが、このようなパンデミックが起こっている中、他国が例年通り9月入学を行えるかという議論が不十分であるように思われる。仮に他国でも入学時期の延長が検討された場合、日本で9月入学にする利点というのは損なわれかねない。拙速に過ぎると思う。	○					
留学には良いだろう	○					
利点 授業が間に合う 欠点 全ての行事をずらしたりするのが現実的に可能とは思えない						
社会への影響が大きいことを考慮すれば、幼稚園・保育園～企業まで一律というのには難しさがあるかと思います(学年のずれや定年時期のずれが生じるので。)そこで、大学だけが9月入学に移行してはどうでしょうか。つまり、高卒から大学入学まで半年、大学卒業からその後の進路まで半年のブレイクが生じます。 そうすれば、大学が学問としての場として復権できるのではないかと思います。				○		
就活に至るまで全てのスケジュールが動くので、すでに始まっている学校などこまで対応できるかわからず、教育格差の拡大にもつながりそうだから。またすでに授業遅れに対応しなくてはいけない教員の業務量がさらに増加すると考えられる。加えて、秋に第二波が来た場合、9月入学さえ危うい。			○	○		
留学	○					
今オンライン環境が十分に整っていない学校・学生と既に整っている学校・学生間の格差を小さくできる。冬と受験期直前を避けようとする、部活動、特に運動部の大会を行う時期を決めるのが難しくなる。						

東京大学単体として9月入学を導入するのは非常に非現実的である。日本の様々な面での既存のシステムに順応しない為である。国全体としてシステムを変えるのなら、導入可能であると思うが、欧米基準に合わせるメリットがあまり大きくないと感じる。国民間で9月入学のデメリットの認知度が低いと思われる為、実態を把握しないまま9月入学を導入すべきだともてはやされたが、パンデミックの現状に即座に効果的な形で導入できるわけでないのなら、導入は慎重に行うべきだと思う。							
留学生が増えるのは良い でもそれにより一般学生にかけられるお金が減るのは目に見えているから、予算がないなら導入しないほうが良い	○						
移行期のギャップ期間							
4月入学による不利益などの情報を知らないで、わざわざ9月入学に変更する必要があるとは思えない。							
就職活動が不安。				○			
高校から大学、大学から社会への接続に支障が出ると思われる。入試や就活への影響が大きそうだから。				○	○		
他の国の大学と同じ時期に入学/卒業できる。 大学院に入ることに有利である。							
留学、入試	○				○		
4月入学なら、海外に留学するときにギャップができてその間にゆったり学べる	○						
9月入学に賛成する理由としては、現在の高校生以下での導入に対して賛成という意味です。もし、履修範囲が高2までで、大学入学した場合、前期教養の講義は、高3まで履修した人/していない人が混在することになります。それを防ぐなら、今年から、9月入学を導入しないと、入試関係でかなり大きな問題が生じると予想しています。					○		
留学	○						
9月入学にしたところで、スペイン風邪と同じパターンならまた今度の秋～春にかけてコロナが流行すると思うので、4月入学に戻りそうな気がします。							
私たちオンライン授業ができて生徒たちへの半年間のズレ（単位数や学費）にはどう対処するのか							○
入試時期は今と同じままにして、入学までの半年間を好きなことする時間にしたら良いと思う 小中高の9月入学は難しいと思う					○		
移行期が大変							
切り替えるタイミングで受験なり就活なりをする人が不便を被りそう				○			
コロナ禍で減った学習期間を補う目的で9月入学に変えることは意義があると思うが、間に合わず来年や再来年に急いで始めるよりは計画を練って始める方が良いと思う。							
学年がずれる							
状況の改善のための時間を作ること							
留学に有利	○						
とくに							
ない							
空白の半年が生まれて無駄になる							
利点がグローバル基準という名目上のことしかない。9月までにこの騒ぎが収束している保証もなく、日本の遅れた社会制度では適応することもできないだろうと考えるのが自然だ。結局社会人になった時に4月始めに戻されるなら、最初からそのような改革などと聞こえの良い事ばかり謳うのではなく丸1年あるいは丸2年のレベルで、4月に始点を置いたままにする方が合理的だといえる。							
COVID-19対策として突貫的に行うのではなく、これを契機とするにとどめ、混乱が起きぬよう万全を期すべき		○					
東大はすでに授業始まっているのに余計なことをして面倒ごとを起こさないでほしい							
併せて9月に就職ということになれば、日本全体に大きな影響があるから、学生の問題としてだけではなく、社会人も当事者意識を持ってほしいと思う。				○			
欠点 ・入試、就職での一過性の人口増加 ・9月から授業が確実にできるというのは楽観的な見解に過ぎず、オンライン化に入学すべし				○	○		
家庭の費用負担が増えることについてや、教員不足、待機児童の増加など様々な影響についてよく考慮し、対策をしっかりまとめた上で移行すればいいと思う。今、急ぐ必要を感じない。		○	○				
欧米への留学がしやすい	○						
義務教育では休校になった分の授業を遅れてでもやる必要があると思う。							
留学等国際的な学術交流がより盛んになるというメリットがあるが、就活等多くの団体や制度に影響があると思うので、コロナに乗じてではなく念入りの計画と議論のもとの導入には賛成します。	○			○			
9月入学の国に対しては留学がしやすくなるし留学生が増えるという利点が挙げられる。移行期における学校現場での負担増加が問題	○	○					
大学ごとによりカリキュラムの差があるようでは不便だが、国全体が9月入学に移行するのは非現実的な気がする							
今年は9月入学にしないとかなり地方公立高校の生徒には厳しい大学入試となると思う					○		
留学に有利になる。	○						

自分に利点が無いので迷惑でしかない							
そもそも、必要じゃないという事。 九月入学にせずとも、現状の制度のままで教育環境は改善できる。							
海外の大学とのラグがなくせる。	○						
大学入試の制度が今までと大きく変わる					○		
可能か不明だが、今の新入生に関して成績に関する授業開始を遅らせる場合を考えると、コロナの収束時期が早ければ最初から対面授業を受けることができる。ただ、授業が既に開始されているため、今年の9月入学はムリのように思える。							
利点:すぐに移行するならば半年長く大学に在籍できるので、より多く活動できる。 欠点:移行期の学費負担が高くなる。		○					○
未就学児の問題が大きく、また9月入学の与える影響を考えれば現実的ではない。何年も議論してきた共通テストの大失敗を見れば妥当な9月入学制の設計がこの短期間で行えるとは到底思えない。何かの問題が起こった場合多数の児童・生徒・学生が影響を受けるので、拙速な議論はすべきでないと思う。							
個人的には、9月でも4月でもどちらでも良い。しかしながら、社会的悪影響は大きい。慶應大の中室教授がまとめていたが。卒業時期が遅れることによる経済的損失は甚大だ。							
利点:留学しやすくなる。 欠点:4月入学から9月入学への切り替えが困難。	○						
仮に導入するとなれば、そのこと自体には反対しないが時期の問題があると思う。 1、2年で導入するとなれば大学入試の問題も出てくる。卒業する立場の大学生については、採用や院試について企業や大学側が柔軟に対応すれば良いのでとても大きな問題にはならないだろうが受験勉強をする高校生にとっては辛いと思う。 長期的な目標として、施行は決定した数年後とするべきだと思う。					○	○	
大幅な変更の際に、一番困るのは受験生や、学生達本人であることを忘れてはいけないと思います。							
留学はしやすい一方、変えるまでが大変	○						
学費についての取り扱いが不透明なままだと、果たして今年度入学の生徒や学生が1年半分支払う必要があるのか、またそれによる家庭経済状況の圧迫についてどう対処するのか検討を進めないと、不安が解消されないまま人々の意見が欠点に向きがちになってしまうのではないかと考えている。							○
留学するなら利点はあると思うが、国内に留まる人には利点はない。むしろ日本の年度始めが4月のままならば、国内での就職や進級・進学の際に不都合が生じるだけだと思う。また、センター試験の廃止すらあれだけ時間がかかって更に大いに欠陥を指摘されているくらいなので、9月入学は尚更性急な導入はしてはいけないと思う。	○				○		
1Sの成績はどうなるのか。 もう一回1Sをやり直すことになるのか。 また、受験生は混乱すると思う。		○					
9月入学にすると留学への準備期間がほとんどなくなる	○						
留学するためにはサマースクールに通わなければならないので、制度を変えると、卒業時期が遅れるため留学はかえってしにくくなる。	○						
留学はしやすくなると思いますが、大学入試の時期との兼ね合いもあるのでよく計画をして移行すべきだと思います。	○					○	
利点：留学がしやすくなること。 欠点：移行期の学生が不利益を受ける可能性があること。	○						
留学に行きやすくなり、留学生を迎えやすくなるので、大学のレベルが上がると思う。	○						
留学がしやすいとか、外国がそうだからとか、短絡的な考えで物事を考えるべきではない。議論がまだ十分でない。コロナが広まったからその辻褄合わせで9月にするなら、根本的な対策になり得ない。もし今回のコロナのようなものがまた広まったなら、4月入学にもう一回戻すだろうか。。。 9月は残暑が厳しく温度変化が激しい。新たな環境に新入生は体調を崩しやすいだろう。無理をして9月入学にすることよりも、一層オンライン講義を充実させたり、自宅学習のリソースを充実させるなど、非常事態でも対応しうる教育環境を整備することの方がよっぽど先決ではないかと感じられる。	○						
留学はしやすくなるだろうが、様々な法整備に時間がかかりそうだと思う。	○						
社会全体のシステムを半年ずらす事は難しいと思う。また、混乱も避けられないと感じる。		○					
長期休みである夏休みを、学年の途中に持ってくるよりも、学年の間に持ってくる方が有効活用できると思う							
留学生が東大に来やすくなるので国際化が進む点。	○						
地方の学校でも授業を全部終わらせることができる。オンライン環境の整っている学校が圧倒的優位にたってしまう。							
入試時期が夏にずれることで、インフルなどの影響が少なくなる。						○	
法律の整備が大変だと思います。 また、受験界隈の混乱が激しいと思います。		○					
世界に合わせられるが制度様々が崩れ去る							

確かに留学などの海外が絡む事項において9月入学はメリットがありますが、国内においてメリットは無いと思います。学校や会社を含めた多くの組織で4月に始まり3月に終わる年度の考え方を使っており、一部だけを変えようとすると就職活動や進学など多くの点で不都合が生じます。また、私の母校では球技大会や研修のようなイベントが多く容易にそれらを動かすことは出来ませんが、このような年間予定を全国の学校が全て作り直さなくてははいけません。さらに、桜の咲く出会いと別れの季節である春は日本の文化の1つですから、利害関係ではなく純粋に4月入学のままで合って欲しいと思っている人も多はずです。このような理由から、私は9月入学には反対であり、もしこれを実現するならば十分な時間をかけて制度の調整と人々の説得を行うべきだと考えます。Covid19に関連して短期間で行おうとするのは無謀だと思います。	○			○			
大学入試				○			
あまりに変動が大き過ぎて想像できない。							
実質多くの生徒や教員は休んでいるわけなので、夏休みを返上して従来の進度に追いついたら良いと思う。第2波で再び授業が出来なくなり、その時でもオンラインなどの体制がととのえられないならさておき。			○				
利点は海外との入学時期が同じになるので、留学したりする人にとってはギャップがなくて利点かと思う。欠点としては、空白の半年間によって人材が一時的に少なくなる事	○						
高校からの接続はどうなるのか。9月入学にすると空白の期間が生まれるはず。							
今現在は9月入学を導入すべきでない。利点は様々あるが、優先順位を考えると、9月入学導入によるさらなる混乱に勝るような利点はない。		○					
海外の主要国と入学時期が同じになることで留学したい人はしやすくなるのはいいと思う	○						
義務教育が早く始まる点では良いと思う。							
移行期にちょうどぶつかる上の学年の生徒たちが不便すぎる。							
学年のズレがめんどくさい							
国際的な基準に合わせるためだけに9月入学への変更を急ぐのはやめるべきだと思う。確かに留学は盛んになるかもしれないが、その分日本から優秀な人材が今以上に流れ出るという事態は容易に想定できる。また、小学校から大学生まで一律に秋入学にしてしまっはギャップ期間を設けることができないため欧米各国のような制度になるとは考えにくい。	○						
社会活動の一新に関わるゴタゴタを今の政府に解決できるとは思わない。							
コロナ禍による学習の遅れを取り戻す 西洋の国々などと入学時期が同じになり、国際交流が簡単、活発になる 入学試験が大雪の影響を受けなくなる 入学試験の時期に熱中症が流行する 一つの大学が入学時期を変えるだけでは意味がないが、現在の政治家にまともに国を挙げての入学時期の変更を行える人物がいない							
準備・計画が不十分であることから、今年度の9月入学の実施は100%不可能である。準備不足のまま制度を変更されても困る。							
社会制度が4月始まりになっている日本において、学校教育のみ9月始まりにすることは混乱をきたすだけだと思う。		○					
少なくとも現状の混乱の中で十分な精査がされることなく諸文化的・社会的な影響を及ぼしかねない学校制度の変更には賛成しかねる。		○					
全員ではなく、9月入学になってしまったがために学費が支払えなくなってしまった人をしっかりと補助するべきだと思う。							○
入試の時に雪で公共交通機関がとまる心配をしなくて良くなる				○			
欠点 部活の大会の時期が夏から変わる							
教育制度だけでなく、雇用体制など、社会全体の変革が必要であるため、もちろんコロナ禍のなかで着手するべきではなく、コロナが収束しても経済の復興や外交バランスの調整など優先すべき事案が多く残るため、予算、時間的にもデメリットが多いように思える。							
諸外国の9月入学制度に揃えるためには、日本は入学時期を半年「早める」必要がある。半年遅らせた場合、諸外国の同級生とは1年の開きが出てしまい、不合理だ。特に小学校の就学開始が半年遅くなるのは発育に深刻な悪影響を及ぼすと思う。							
授業の遅れを取り戻せる 留学がしやすくなる 制度の変更に時間がかかる	○						
今の高3、浪人生への負担が大きすぎる		○					
移行期							
メリットなんて特にないと思う							
大学だけ9月入学にすべき							
義務教育や高等学校、他の大学と揃えて一斉に変えなければ大学入試等で有利不利ができてしまう恐れがある。				○			
留学への送り出し、受け入れはスムーズになるなど、国際的な通例と足並みを揃えられるが、これによって劇的に日本の教育の現状が変わるわけもないと思う。	○						
在籍中に導入されるとややこしく感じます。							
九月入学はグローバルスタンダードとは言えず、移行の混乱を考えれば急を要さない		○					

移行期							
9月入学は留学や研究で利点となるが、高校や他大とのつながりなど社会全体と足並みを揃えないとできるのではないため日本の体質的に難しいと思われる。	○						
利点 入試の時期が風邪・インフルエンザの流行期からずれる。 海外の学校との留学がスムーズになる（？） 欠点 4月入学制と9月入学制の移行期における混乱（入学・卒業・就職） 国家予算と大学当局予算の計算時期の不一致 留学のある意味での準備期間がなくなる（？）（入学を桜のもとで祝う文化の消失。残暑の炎天下・台風の中での入学は喜ばしいものではないかもしれない。）	○	○		○	○		
当面の授業時数に余裕が生まれる。都市部では実質9か月の授業となるが、これで最終年度を終えて卒業する生徒が可哀そうである。							
9月入学を導入する際に、「日本をグローバルスタンダードにするため」という理由を用いるならば、単に教育上の学事暦を変えるだけでなく社会全体の制度設計を変える必要が出てくると思う。つまり日本の「年度」という枠組みに根ざした制度設計を大幅に変更する、という話であり、そのためには多くの法制度や日本人の価値観自体を全て変える必要がある。これらを拙速に進めるべきでは無い、というのは火を見るより明らかであり、例え導入するにせよ、十年単位で行っていくべきものであろう。							
前もってプランを明確に示さないと入れ替わる代はかなり困るかもしれないが、変えることでグローバルスタンダードに合わせることになるので基本的にはよいとおもう。							
東大に来るような富裕層は留学などを視野に9月入学に賛成するだろうが、全国的にみたら留学できるような家庭は多くないだろうから反対。	○						
移行期が1番難しいと思う							
世界標準に合わせられる							
入学式がしたい							
大学入試					○		
留学をためらう理由は、費用負担の重さであって、入学時期をずらせば留学しやすくなるということは全くないと思う。もっと金銭面のことを考えるべき。	○	○					
9月入学は半年のブランクが生まれ、就職の時期もずれて良くない。また進級が遅れると下宿先のアパートの家賃も負担になる。		○		○			
9月入学留学に役立つと言いますが、留学したいのは都市部のお金持ちか、優秀層が主なので、それがうまくいくからって9月入学に変えることは全国のすべての児童生徒にとって必要なかと聞かれた時にそうだと言える理屈が必要だと思います。	○						
利点:諸外国にスタンダードが合わせられるので、留学などがスムーズである。 欠点:諸々の調整が大変。	○						
メリットがあまりははっきりしない一方で、国の財政負担が大きいという欠点があると考えられる。		○					
留学	○						
利点、海外進学が容易になる 欠点、0.5年生の発生、年度始まりが変わることによる大規模なプログラム変更	○						
教育機関だけでなく企業と連携をとることが困難だと思う。				○			
留学しやすくなるし、大学入試も雪などの格差なく行える。一方で、他大学が4月入学を維持した場合の就活は不安	○			○	○		
入学試験を冬からずらせることはメリットだと思います。							
海外と入学時期を揃えれば留学がしやすくなる。今年度無念の入学となった新一年生が報われる。	○						
グローバル化が進む中世界と入学時期を合わせることは大事だと思います。これにより留学や海外の大学院への進学もしやすくなります。また受験がインフルエンザや花粉症、降雪の時期と外れるため受験生にとっても良いことだと思います。	○						
ギャップタームができるのなら良いことだと思う。							
移行期がどうなるのか							
対面で公正なテストができない限りは成績評価をするべきではない							
小学校から大学、就職までの全てのサイクルが現在とずれる可能性があるため、導入するとしても検証を念入りに行う必要がある。				○			
欠点:真夏に大学入試をすると体調不良者が続出しかねない。移行期の1学年の人数が膨れ上がる。毎年1ヶ月ずつずらすという措置は、計算ミスが起きるなど非現実的すぎる。					○	○	
移行期に、学生の人数の偏りが生じると思う。						○	
留学や留学生の受け入れがしやすくなる。大雪による交通機関の停止の心配がなくなる。入試時に受験生の熱中症対策が必要になる。	○				○		
利点はコロナウイルスによる学習への影響を軽減でき、また留学などがしやすくなる点だと思う。欠点は就職や受験のタイミングが難しいという点だと思う。	○			○			
留学がしやすくなる	○						
留学生が来やすい	○						
大学入試の実施時期が難しい。 留学しやすくなる点では良い。	○				○		

今年度の高校3年生が例年通り2月に本校入試を受けたとする。公立の高校では最悪の場合そもそも授業の範囲を完全に終わらすことができないまま入試に臨むことになり、授業進度の早い有名進学校との差がより顕著になってしまう。また、全般として夏休み等がやむをえず授業に費やされ自学習の時間が確保できないため、受験で身につけるべき学力を培うことが困難になると思われる。その結果、現役生が圧倒的に不利となる。その影響で経済的に裕福ではない家庭の学生が浪人することを恐れるために、本学受験を断念することも予想される。故に、経済状況関係なくあらゆる学生に本学での学習機会を平等に提供するならば、今年度から9月入学にするべきである。					○		
卒業が半年延びるので、その補助があればいいと思う							
新聞などで聞かかった情報しかないが、海外の大学と揃っていた方が何かと便利だと思う。	○						
移行期に難がある							
自然界のサイクルは春に始まり冬に終わることは明らかです。春には命が芽生え、夏には発展、秋に衰退し、冬に死すというのが基本的な流れである。4月入学はその自然な流れに沿った理想的なタイミングであってそれに逆らう理由がありません。強いというなら、韓国は3月入学であり、こちらの方が冬と春の区切りとしてはよりふさわしいかもしれません。							
移行期の学生の対処。小中高との連携(4~8月を埋めるのか、自主学習期間として社会学習をさせるのか)							
利点 入試試験受験者がインフルエンザの影響を受けにくくなる 留学がしやすくなる 欠点 制度を整えるのにコストがかかる	○				○		
留学がしやすくなる 制度の変更などが大変	○						
就職との兼ね合い				○			
今の一年生がサーオリなどを経験できるので、東大の文化維持に役立つ							
現在受験が控える生徒達のために加えて留学にも役立つとされる今年の9月入学は一過性だと考える。数十年後、この制度の恩恵を受けるのは限られた留学可能な生徒のものだけになりかねず、本当に公共的な利益に帰するかを冷静に考えるべきと考える。	○						
利点→留学、入試時期のインフルエンザが減る 欠点→制度的な面(決算とか)	○				○		
会計年度とのズレの補正や、学年の再振り分け(9月2日生まれからが上の学年になる?という疑問)について不透明な部分が多く、とても制度的に導入できる段階ではない。また、メリットがよくわからない。(9月入学だけで学習格差が改善されるとは思えないし、格差は正の重要な要素にもなっていない。ただの海外の猿真似。漢字廃止論レベルで馬鹿げている)こんな状態では9月入学賛成派はアホとしか言いようがない。	○						
どうしても移行期に世代間で不公平なギャップが生まれると思う。							
他人との交流がない空虚な今学期の時間を、9月入学によって取り戻せるという利点がある。							
留学しやすくなるのが利点だと聞いたことがあるが、そんなごく一部に対するメリットのために教育現場全体に大きな混乱をもたらして釣り合っているのか疑問です	○	○					
年度の始まりが変わることで、同じ学年の人がずれるというのがもう考えられない。 そもそもこんな大きな変更はすぐに行うべきではなく、10年くらい前から予告してからやるべきだ。コロナに対応して授業をしているところ(それこそ東大)は9月入学に変えられるとむしろ困るわけで、そのあたりを加味せず変えてしまおうというのは浮かれすぎではないかと思う。 また、9月入学にした場合、7月や8月に入試となるのだろうが、あんな暑中勉強に集中なんてできないし、入試に行く途中で暑さにやられてうまく受験できないことも大いにありうる。受験で測るべき力はそこではないと思う。というか、移行期の入試はどうするつもりなんでしょうね。ある年だけ現役生の準備期間がものすごく短くなって、浪人生が圧倒的に有利になったりするのは明らかに問題だ。 コロナ対応で変更するとすると、留学や就活や卒論などには目が向けられないのが目に見えているので、結局振り回されるのは学生や生徒・児童だと思う。 法律もまるで整備されていない・整備しきれぬ目処も立たない、といった状況で、本気で変える気なのかと問いたしたくなる。現状分析を疎かにすべきではないし、早急な改革を叫ぶ人は正気の沙汰とは思えない。	○			○	○		
コロナで満足いく指導を受けられていないうえ、入試制度の変更もまだ曖昧である今、4月入学に向けた対策を受験生に取らせるのは頻出の範囲に絞ったりするなどして幅広い知見を学ぶことよりもどうか受かる確率をあげる方策をとることにつながると考える。					○		
海外の大学との連携は取りやすくなるだろう。	○						
グローバルスタンダード 海外で働きやすくなったり留学も海外に合わせて行うことができる。	○						
就活にも大きく関係するので、教育だけでなく経済の面からも議論すべきだと思う				○			
入学時期を変えると当然会社の新人採用や公的なシステム等も大きく変わってくる。半年のずれが与える影響は、幅広くかつ大きいものであり、変えないことによるデメリットよりも変えることによるデメリットが大きいように思える。				○			
入試時期がインフルエンザ等の流行時期から外れるので良い					○		
現状の4月入学のシステムには重大な欠陥がない、9月入学に移行する金銭や労力の負担が大きい、国際基準に合わせる必要がない、そして、4月入学に基づく文化の保存という個人的価値観により、9月入学の導入に反対します。		○					

9月入学は実行できないと思います							
相互に留学しやすい。大学入試期に感染症が流行しにくい。	○				○		
移行期間は学年の人数が増えてしまうなどいろいろと大変だから。						○	
利点 授業、実習の遅れを取り戻せる 欠点 今学期の授業の扱い 企業などの年度から4月スタートのままでは就職で苦労するのは 9月入学に切り替わる年度の定員はどうなるのか				○			
まず、今年度入学生である自分にとって、現状の講義制度には不満しかない。一例として基礎科目情報についてだが、生徒の持つ端末の機種がまちまちであったため、説明を聞いても上手くいかない生徒が続出。わけがわからず教授に質問しても逆ギレされる生徒もいる。理不尽の一言である。情報のみならず、あらゆる科目で例年より遅れを取っている生徒が多数いると思われる。あらゆるイベントがなくなり、人脈を得られなかったことで他者からのサポートも無い。自身の悩みを打ち明けられずにいる生徒も多いだろう。コロナの影響で急遽対応を余儀なくされたわけだが、確実に不十分であり、問題だらけである。一学生として言いたいことは「頼むから待ってくれ」の一言に尽きる。9月入学にすることは、何より、環境の急変に磨耗された僕達、いや、全学年の学生及び生徒への救済である。のみならず、他の先進諸国と足並みを揃えられるのは明らかに利点ではなからうか。最後になるが、9月入学を導入するならば、来年までであって、2年以上先延ばしにしてはならないと考える。いずれ導入するくらいなら、今すぐに、僕達の救済も兼ねて来年度から行って欲しい。							
入学してくるであろう高校3年生にとっては、大学の入学時期が遅れないと厳しいと思う。							
東大への海外留学生が増えると思う。	○						
欠点（特に中、高）学校行事の最盛期が冬になる							
留学がしやすくなる。このタイミングで踏み切らないと実現は難しいだろう。	○						
利点:海外の多くの国に合わせられる 欠点:移行期に混乱が生じる	○	○					
出来る限り導入した場合、本来過ごすはずだった失われた大学生活を少しでも長く享受できる							
利点…留学のハードルが下がる点 欠点…かなり多くの制度を変えなければならない点(1, 2年では難しい)	○						
利点:海外留学がしやすくなる 欠点:移行により就職時期などで混乱が生じ、大学入試センター試験廃止後の英語の民間試験導入延期のように政府が動くのが遅いせいでゴタゴタするのが容易に予想が着くこと。	○	○		○	○		
ギャップイヤーの問題							
半年分のズレをどう解消するのが課題だと思う。それ以外のこと(就活等)は企業側の対応でどうとでもなると思う。				○			
利点としては、留学が容易になります。私は実際にスケジュールの齟齬的な問題で留学を断念したので有難いです。欠点としてはただでさえ教育現場は混乱しているのに今以上に混乱させることになるだろう、ということです。	○	○					
社会制度全体を変える必要があるはずで誰にも不利益が無いようにというのは難しそう							
留学、入試制度	○				○		
今年の新入生の行事を改めて開催できる、受験生が授業の潰れた分を取り返せる							
利点：外国との関わり 欠点：制度改変が学校内部にとどまらないこと							
半年分のひずみをどこで解消するのか							
欠点の一つとして、留学の為に十分な準備期間を確保出来なくなる事が挙げられる。日本でカリキュラムを3月に修了し、海外の大学に9月に入学する間の半年の空白期間は、海外移住の為に準備や語学力の増強などの為に重要な期間であり、「宙ぶらりんの空白期間だから」といって安易に否定すべきではないと私は考える。	○						
中途半端。1月ならいざ知らず欧米が採用してるからというしょうもない理由で9月にするのは嫌							
遅らせるということであれば、各国より1年遅れて義務教育をスタートすることになる 導入するならば、入試時期や適応範囲(大学から？小学校から？など)までじっくり決める必要があるのでコロナで丁度いいからという理由で変えるのは無理がある					○		
入試がインフルエンザの時期にかぶらなくなるのは良いことと思います。移行期の混乱は必至でしょう。		○			○		
抜本的な改革が必要で混乱は避けられないと思う。		○					
より多くの留学生が入学し刺激になる	○						
4月がいいのだ							
授業進度の遅れを取り戻せる より能力の高い人材を海外から集められる 小中高でオンライン授業の整備する期間が確保できる	○						
留学	○						
オンライン授業による格差を改善できる 海外の大学、大学院との接続がよくなる	○						
留学しやすくなる。	○						

オンライン授業で施行段階も経ずに2ヶ月が経ち、自分は若干適応障害を起こしてしまった。そうした人も他にも多いと思うので、救済のために9月入学・進級とすることでどこかで進振り点などを調整できるようにしてほしい。高校生についても同様のことが言え、学年が上がってからの2ヶ月の過ごし方にかなり不可抗力が含まれた以上、そこで大きな差がついてしまうのは少し受験というシステム内では違和感を感じる。特に、今年はこういう状況下で、かなり都会出身者や塾に通える富裕層が増えそうであるのが、地方出身者かつ豊かでない層の出身としてはかなり複雑である。							
日本に根付いた文化を変えるべきでない。							
諸外国と足並みがそろうことがメリット。デメリットは、就職活動に悪影響がでること。				○			
利点としては留学のしやすさ程度であると考えます。ただそれだけのために社会全体の制度改革を進めるのは無駄だと考えます。9月入学をスタンダードにすればいわゆる「年度」の概念自体が変わることになるので、たとえば導入した年の4月から9月の間に出生した子供の年齢、企業の決算など様々な問題を考慮し、制度改革することなしに導入は出来ません。しかしながら元はと言えば9月入学は4~5月に授業ができない中高生の学力格差は正のための対策であって、そういった議論を経た後に導入したところで本来の問題が解決しません。	○			○			
留学のしやすさ	○						
学生に不利益が生じないよう十分に検討し、企業などの協力も得た上で慎重に制度を変更していくべきだと思います。				○			
現在の入学制度からの移行期に、海外の高等教育と比べて更に遅れが生じる懸念があります。	○						
海外留学もより円滑に行えると思います	○						
東大は準備ができていてなんとかうまく講義を始められているので、私の視点では必要性が皆無。入学試験を夏にするというのもよく考えて見れば困難な話で(体調面、気候も適していない)年度始まりを桜とともに迎えられないのも気が引けます。(これは非常に恣意的ですが四季をもつ日本の文化としては看過できません。)法律や制度の変革も予想以上に骨が折れるであろうし、そもそも9月入学にするメリットがよくわかりません。今年の受験生の勉強時間そのものが奪われたわけではないです。実際にこの局面を逆手に活用して進捗を生んでいる人も多いはず。むしろ年間の予定を変えられた方が受験生をはじめその他の年代にも支障が出るかと。最終学年に焦点が当てられがちですが、たしかに部活動やその他行事がなくなるのは心苦しいです。しかしこの数十年に一度くらいであろう災難の中そんなことを言っている場合でもないと思います。もはや世界規模のパンデミックなんですから。耐え忍んで当然だと思われます。私はそんな、見方によればとてもささいな、ことよりこのウイルスの影響で生活面、金銭面で困窮している企業や自営業の方たち、家庭に対する配慮を手厚くするべきだと思います。我々学生は多様な方法で勉強に着手することが多くの場合可能です(金銭面の問題は後述)。ですが実際に損害を被った方は生活、大げさに言うと命がかかっているんです。部活動ができない、行事ができないと言っているようじゃ世界が見えていないようなものです。ましてや、似たようなことを前に述べましたが、学業に関しては機会が2ヶ月ほど奪われたという視点がそもそも間違いで、奪われたのではなく他の何らかの方法で着手しなかっただけです。一般に保護されがちな学生には学校側の対応や予備校の対応、オンライン講義の充実などすでにかなりの手間暇がかかっていると思われます。これ以上事を大にするのはいくら対象が未成年であろうと適当だと言えるのでしょうか。自発的に何かに取り組む成長の糧を潰してしまっているようなものです。そして何より、不幸中の幸いかコロナの猛威は今現在衰弱しつつあります。ここで気をぬくのはひどく間抜けで馬鹿らしい事です。九月入学にするのはさらにその目的意図がわからなくなりました。九月入学を支持している層がどういった層なのか、私の先輩や友人も口を揃えて皆反対しているのですが非常に不思議でたまりません。こういった非常事態に思				○			
もともとこんなことが計画されていたというよりも、コロナに際する対応策として9月入学が検討され始めたという時点で、子供の学業期間が伸ばせるというものの以外の利点(受験時の天候が良い、海外とタイミングを合わせられる等)が全部後付でくだらないものだというのがうかがえる。コロナが欧米と比べて収束しつつある現在、巨額を動かしてそれを行うのは無駄が多すぎる。その金をオンライン授業を行うのが困難な公立校等に支援したほうがよっぽど建設的で即時的な効果が認められると思う。	○						
今回の9月入学では一律で入学時期をずらすというだけで、海外の事情に正確に寄り添えていない。東大のセメスター制をさらに発展させるような形で、一年の複数の時期に入学できるようにするべきだ。	○						
行事の調整							
学費をいつ納入するべきとかが変わってくる。大学ならまだいいが、小中高だと教室が足りない問題が出てくる。							○
あまり自分にとってのその利点を把握していないのでどちらとも言えないのが正直なところ							
東京大学がより発展するために留学生の受入がしやすくなると思う。また交換留学なども行いやすくなると思う。	○						
入試から入学までに、社会生活の土台を積むことが出来る					○		
伴う負担に対するリターンが少なすぎる		○					
各企業や社会制度に対しての対応が 間に合うとは思えない				○			
ずれる							
制度を変える労力に対して、変えた後に得られる恩恵が十分大きいのかよくわからない。							
留学しやすくなるのは利点だと思う。移行期の混乱が欠点だと思う。	○	○					

日本では入学式に桜と決まっているんです							
利点 留学時にすぐ移行できる(日本から海外と海外から日本の両方) コロナで学校閉鎖期間の様々な中止となった行事をずらすことができる 来年行えばあらゆる入試への勉強時間を伸ばし、コロナ閉鎖期間で生まれた不公平さを低減できる 欠点 学校関係者だけでなく企業など新しい対応が必要となる 小中学校にあらたに入学する世代で空白期間がうまれてしまう恐れがある(段階的にずらしながら移行させれば可能らしいが)	○			○	○		
詳しく知らないのですが、なによりも学生の利益を優先すべき事案です。下村博文のような人間の利権漁りは厳しく監視すべきです。							
留学においてスムーズな対応が取れるものと期待される。また、現行の高大接続に際しては数学、物理などの科目で余裕がなく、深く掘り下げて学ぶことが困難であるとも感じており、半年程度の期間を大学入学前に設けることは、生徒の自主学習を促進する面からも非常に好ましいと考える。	○						
わざわざ世界標準と異なる4月である理由が別にないからこの機会に変えればいいと思う							
別に入学は4月のままで良いのではないか。それよりは卒業時期をフレキシブルにする方が良いと思う。							
季節感が狂ってしまう。欠点が思い当たるわけではないが、多大な労力をかけてわざわざ変更する価値がないのではないかとと思う。							
とくになし							
高校卒業のタイミングをどうするか等の問題が生じる、仮に半年分の間が空く場合お金がかかったりする							
優秀な海外の学生を受け入れることが容易になり、東大生自身の学習に対するモチベーションが上がると思う。また東大生にとっても留学のチャンスが広がる機会となるため、基本的に賛成だ。しかしこのパンデミックの状況下で計画を練らず9月入学に移行するのは大変危険だと思う。	○						
利点:授業の遅れが解消でき、訪れるはずだった新学期などの学生生活を送れる。(短期的メリット) 欠点:費用、4～8月生まれの人扱いをどうするか。(長期的デメリット) したがって、今年入学した身からすると、これまでのことを忘れて綺麗さっぱり9月から新たな学生生活を始めたいと思うが、日本全体では結局この改革は行われなと思われる。							
海外留学する学生は遅れが生じにくくなり、大きなメリットがある。他にも欧米諸国での活動がしやすくなる。9月入学そのものは悪い点はなく、導入してほしい。しかし、日本の学校文化(甲子園、桜など)、就職、会計制度、年度設定を全面的に修正する必要があり、十分吟味し、10～20年程度かけて、段階的に移行すべきである。	○			○			
海外でも入学時期はバラバラなので特別9月に合わせる必要はないと思います	○						
海外の状況と日本の状況を冷静に比較分析してから、決定すべきだと思います。	○						
移行期、大学入試 これ以上下の子たちを困らせたくない					○		
「グローバルスタンダード」という点は利点かもしれない。だが、海外の状況に無理して合わせる必要はない。留学したい人への支援は十分である。現在の社会は4月入学が根本にあり、それを覆すために必要な経費や負担は計り知れず、あまりにも無駄が多すぎる。9月入学を考える前に、全国一斉留年を考えるべきである。	○	○					

Q24S1FA Q8に関連しての要望・補足したい事項があればお書きください。

ありません

なし

ない

特にありません

特になし

なし

事務の対応は素晴らしい

ない

特になし

なし

特になし

無

なし

なし

特になし

とくに

ない

特になし

なし

特にない

特にないです

特にない

Q8が何なのかわからない。

ないです。

特にない

大丈夫です

特になし。

特にありません。

ない

なし

ない

特にありません。（Q8が何の質問だったか覚えていません。）

というより、ページが変わってから『Q8に関して』と言われましても、どんな質問だったか覚えていません。すみません

特になし

特にない

特になし。

特になし

ない

特になし

Q8に遡る作業が億劫なので、Q8の内容をここにも書いてほしい。

特にありません。

特になし

なし

なし

無し

Q8を覚えてません。

Q8って何でしたっけ。再記しておいてくれないと答えようがありません。画面戻れないんです。

質問形式が少しわかりづらい。

特になし

特になし

なし

なし

特になし。

ありません

特にないです

なし

覚えてない

Q8とは

Q8が何だったか覚えていると思いますか？

特にありません。

なし。

特になし

特になし

特になし

q8なんて覚えませーん

特になし

特になし

Q8ってなんでしたっけ。ごめんなさい忘れました。

なし。

今のところありません。

とくになし

特になし

特にないです

Q. 25

学部交渉を見据え、その他学生生活や大学運営に関して、何か意見があればお書きください。

(自由回答。「特になし」等の回答を除いたものを以下に分類して掲載。)

新型コロナウイルス感染症に係る当局の対応関連：

- ・今後キャンパスが使える状況になった場合でも、学外の方の入構は、当面の間、規制してほしいです。公共の場という責任はありますが、感染予防の観点では、しばらくは、学外の方の入構禁止措置が必要であると思います。
- ・対面授業の再開の時期はゆとりを持って決めて欲しい
- ・東大のコロナ対策は迅速かつ的確だったと思うが、まだ改善すべき点が多分にあると思う。
- ・早く今後の方針を示してほしい。緊急事態宣言解除後も工夫もなく今までと同じ方針を維持するつもりなのか。受験を経て大学に入ってもこんなつまらない生活しかなく大いに幻滅している。
- ・コロナ期間での成績評価の特例的な見直し
- ・履修者の多い講義にかんしては、オンライン授業を継続してほしい。
- ・授業の課題が多すぎる。勉強が孤独すぎて負担が大きく辛い。クラスメートにすら会えないので大学に入ったという気がしない。
- ・オリ合宿や五月祭など、学習の息抜きにあたる行事が軒並み経験できていないので、全てこれから実施せよ、とまで言うつもりはないがその立場を汲んで開催などを決定してほしい。
- ・緊急事態宣言が解除され、飲食店やレジャー施設が再開しているのに、大学が再開してないのはおかしいと思う。先ほども書いたが、課題の量は先生方でもう少し調整してほしい。あと書きそびれてしまったが、情報の授業をリモートでやるのは無理があるので、可能なら A セメ以降に延期してほしい。
- ・キャンパス内は広くてソーシャルディスタンスも確保できるので解放して下さい。

今年度の学費関連：

- ・構内設備を利用していないのに、学費がそのままなのはおかしいと思います。返金等の対処を強く求めます。
- ・コロナウイルス蔓延の対策に伴い大学の施設がほとんど使用できないため、授業料を幾分か減らすべきである。

進学選択関連：

- ・進学選択の情報を1年生にも流してほしい。
- ・進振り制度は学生の点数への固執を生む上、底点が低い学部が弱くみられる可能性が高いため改善されるべきです。
- ・進振りの底点はネットから見られるようにするべきだし、なんなら東大受験を考える高校生のために一般公開してもいいと思います。いざ東大に入ってみたら行きたい学部は想定以上に難しくて入れなかった、ということが起こるので。
- ・とにかくオンラインでの進振りに関しては全く賛同できません 1年生のSセメスターの成績の点数化をやめていただきたいです

授業時間関連：

- ・授業を90分に戻して欲しい。集中力がもたない
- ・授業時間が長すぎて集中が切れてしまうので逆効果。90分制にすべきだと思う。五限があると帰りも遅くなるし、朝は早いし、どの点をとっても非常に不便。

その他：

- ・軽度の難聴(日常生活に支障はない程度)なのですが、去年は声が小さい先生に声を大きくするよう要望したがなかなか改善して頂けず、授業理解が苦しく、また同時にこのような障害に理解がないことが辛かった。しかし、オンライン授業では自分で音量を調節できるのでバリアフリーという点では有難い。しかし、もう少し先生方の配慮意識が進んだほうがよいと考える。
- ・図書館の開館時間を伸ばしてほしい
- ・FLOWのレベル分けの自己申告制はやめた方がいい。出身高校のレベルによって自分の英語力の体感が異なるため。
- ・食堂の拡充をお願いしたいです。
- ・革命的共産主義者同盟中央委員会系の活動家やカルト団体のオルグが学内外で情宣・勧誘活動をしていると言う話を聞くので、学生の安全のために大学当局は思想団体やカルト宗教団体の動静を把握したら公表して欲しい。
- ・課題多すぎ

Q26 最後に学生自治会理事会に対してご意見・ご要望等あればお書きください。

回答数： 91 無回答: 441

○回答

- ・ コロナに関して学部の言うこと全てに異論なく従ってきた学生自治団体が学部交渉で何ができるのかと思ったが、学部に従っていい顔をすることで有利に進められるのかもしれないですね。
- ・ これからもアンケートをください
- ・ Q8 についてとか、戻って見直すのが面倒なので、この書き方はやめた方が良い(多数)
- ・ 学生自治会でのアルバイトについての ZOOM を見逃したのですが、後からでもアルバイトはできますか？
- ・ ツイッターを思想信条上の理由からほとんど見ないので、学生自治会のツイッター以外の広報、特に LINE を増やしてほしい。ツイッターは理由なきアカウント凍結の恐れがあるほか、毎回スクロールしなければならぬので過去投稿の一覧性が低く、フォローの関係で東大生であるなどの個人情報が明かされてしまう。情報発信には最悪とまでは言わないがどちらかといえばひどい部類のツールだということを認識していただきたい。
- ・ 今回のアンケートで、例えば Q24 のように、前の設問に対して新たに解答欄を作っているが、この質問方法はあまりよくないと思う。過去の質問番号と内容を一致させて覚えきれていないので、答えにくい。
- ・ 今回のような WEB アンケートに関して、"Q8 に関連しての要望があれば～"のような質問形式だと、Q8 の内容をページを戻って確認するか、それを覚えるかしていない限り答えるのが難しいです。前の質問の内容を改めてその質問文に記していただけると回答者としては助かります。よろしくお願いします。(多数)
- ・ 一時的に過去問をインターネット上で学生に向けて公開してほしい
- ・ 自粛生活で抱えたストレスからやや否定的な意見が多くなってしまったことに自分でも驚いています…公平な気持ちでないにしてもこのような感情を抱きうるのだ、というスタンスで捉えていただければと思います。
- ・ 早く自治会のサービスを利用したい。
- ・ よくわかりませんが、学生のために色々と活動していただき、本当にありがとうございます。大学に通えるようになったら、トレーニングを積んでムキムキになりたいと思います。